

2011年度

歯学部研究年報



明海大学

MEIKAI UNIVERSITY

目 次

	頁
形態機能成育学講座	
解剖学 分野	1
口腔解剖学 分野	3
生理学 分野	6
口腔小児科学 分野	7
歯科矯正学 分野	12
口腔生物再生医工学講座	
生化学 分野	15
微生物学 分野	18
歯周病学 分野	20
基礎生物学 分野	27
基礎化学 分野	28
機能保存回復学講座	
歯科生体材料学分野	30
歯科補綴学 分野 1	31
歯科補綴学 分野 2	34
保存修復学 分野	38
歯内療法学 分野	40
オーラル・リハビリテーション学分野	42
基礎物理学 分野	45
病態診断治療学講座	
病理学 分野	46
薬理学 分野	50
総合口腔診断学分野	58
歯科放射線学分野	60
口腔顎顔面外科学 分野 1	62
口腔顎顔面外科学 分野 2	65
社会健康科学講座	
口腔衛生学 分野	68
医療情報科学 分野	71
スポーツ歯学 分野	72
障害者歯科学 分野	74
総合臨床医学講座	
内科学 分野	76
眼科学 分野	77
麻酔学 分野	78
特別研究室	
M P L	80

形態機能成育学講座

解 剖 学 分 野

口 腔 解 剖 学 分 野

生 理 学 分 野

口 腔 小 児 科 学 分 野

齒 科 矯 正 学 分 野

解剖学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 崎山浩司, 天野 修 他著:河奈裕正 編, インプラント修復の臨床基本手技 2 外科, デンタルダイヤモンド社. 2012
- 2) 崎山浩司 他 歯科衛生士国家試験問題研究会 著: 歯科衛生士国家試験予想問題集 (新出題基準準拠), 医歯薬出版株式会社. 2012

2. 訳本

- 1) 天野 修 他訳: 坂井建雄, 天野 修 監訳, プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部, 医学書院, 2012.3
- 2) 天野 修 他訳: 前田健康 監訳, ネットー頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス, 医歯薬出版, 2012.2

B. 学術論文

2. 総説

- 1) 天野 修: 唾液腺-臨床と研究のための解剖学. 日本口腔外科学会雑誌 57:384-393. 2011

3. 原著

- 1) Jitsuno M, Yokosuka A, Hashimoto K, Amano O, Sakagami H and Mimaki Y.: Chemical constituents of *Lycoris albiflora* and their cytotoxic activities. Nat Prod Commun. 6:187-192. 2011
- 2) Sasaki A, Yamada T, Inoue K, Momoi T, Tokunaga H, Sakiyama K, Kanegae H, Suda N and Amano O.: Localization of heat shock protein 27 (hsp27) in the rat gingiva and its changes with tooth eruption. Acta Histochem Cytochem. 44:17-24. 2011
- 3) Otsuki S, Sugiyama K, Amano O, Yasui T and Sakagami H.: Negative regulation of NaF-induced apoptosis by Bad-CAII complex. Toxicology. 287:131-136. 2011
- 4) Hiroki E, Abe S, Iwanuma O, Sakiyama K, Yanagisawa N, Shiozaki K and Ide A comparative study of myostatin, follistatin and decorin expression in muscle of different origin. Anat Sci Int. 86:151-159. 2011

D. 学会発表

2. 全国学会

(2)シンポジウム

- 1) 天野 修, 溝部健一, 栗原琴二, 崎山浩司: 実験動物の唾液腺の免疫組織化学における

問題点. 第 52 回日本組織細胞化学会総会・学術集会, 金沢市, 2011.9

- 2) 島田和幸, 佐藤 巖, 小林 繁, 天野 修: 解剖学教育とコア・カリキュラムの関係. 第 53 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 岐阜市, 2011.9
- 3) 天野 修: 下顎骨の発生とメッケル軟骨. 第 65 回日本人類学会大会, 那覇市, 2011.11

(3)一般演題

- 1) 瀧澤将太, 崎山浩司, 井上勝元, 桃井知子, 坂東康彦, 坂下英明, 天野 修: 舌癌が周囲筋に与える影響について. 第 53 回日本組織細胞化学会総会・学術集会, 金沢市 2011.9
- 2) 桃井知子, 坂東康彦, 井上勝元, 崎山浩司, 大和田祐二, 天野 修: 成長および食餌による口腔周囲筋の心筋型脂肪酸結合タンパク(H-FABP)の発現変動. 第 54 回日本組織細胞化学会総会・学術集会, 金沢市 2011.9
- 3) 井上勝元, 崎山浩司, 瀧澤将太, 坂東康彦, 坂下英明, 天野 修: TTF-1 を指標としたマウス甲状舌管の発生と消失の解析. 第 55 回日本組織細胞化学会総会・学術集会, 金沢市, 2011.9
- 4) 坂東康彦, 崎山浩司, 井上勝元, 大和田祐二, 天野 修: マウス骨端板軟骨の septoclast における表皮型脂肪酸結合タンパク (E-FABP) の局在. 第 56 回日本組織細胞化学会総会・学術集会, 金沢市 2011.9
- 5) 天野 修, 坂東康彦, 崎山浩司, 大和田祐二: 硬組織における脳型脂肪酸結合タンパクの局在. 第 117 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 甲府市, 2012.3
- 6) 坂東康彦, 崎山浩司, 井上勝元, 瀧澤将太, 大和田祐二: マウス脛骨骨端板の septoclasts における表皮型脂肪酸結合タンパク (E-FABP) の免疫組織化学的局在と発生過程における分布変化. 第 117 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 甲府市, 2012.3
- 7) 崎山浩司, 瀧澤将太, 坂東康彦, 井上勝, 桃井知子, 天野 修: 細胞分化過程における筋の特性変化. 第 52 回日本組織細胞化学会総会・学術集会, 金沢市, 2011.9

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 天野 修: メッケル軟骨の消失とその意義. 基盤研究 (C) 23592710, 2011-2013

口腔解剖学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 内田博之, 渡邊真代, 内記麻帆, 伊東順太, 大竹一男, 小田切陽一, 小林順: わが国の男児出生割合の年次変動に対する年齢-時代-コホート効果と 2008 年~2027 年の男児出生割合の将来予測. 日本衛生学雑誌. 66:582-588, 2011.
- 2) Sakae T, Hirayama K, Yamamoto H, Suzuki K, Hayakawa Y, Takahashi Y, Kuwada T, Nakao K, Nogami K, Inagaki M, Tanaka T, Hayakawa K, Sato I and Kakei M : Three-dimensional orientation analysis of human enamel crystallites using X-ray diffraction. J. Hard Tissue Biology, 20:1-6, 2011.
- 3) Hada N, Okayasu M, Ito J, Nakayachi M, Hayashida C, Kaneda T, Uchida N, Muramatsu T, Koike C, Masuhara M, Sato T and Hakeda Y : Receptor activator of NF- κ B ligand-dependent expression of caveolin-1 in osteoclast precursors, and high dependency of osteoclastogenesis on exogenous lipoprotein. Bone, 50:226-236, 2012.

D. 学会発表

1. 国際学会

(2)シンポジウム

- 1) Mishima H, Kakei M and Miake Y : Histological and analytics studies of dermal exoskeleton and tooth of Eusthenopteron from Devonian. 38th European Symposium on Calcified Tissues, Athens, Greece, May 2011.
- 2) Kakei M, Sakae T, Mishima H and Yoshikawa M. : Effect of estrogen deficiency on formation of apatite crystals. 8th European Symposium on Calcified Tissues, Athens, Greece, May 2011.

(3)一般演題

- 1) Okayasu M, Hayashida C, Nakayachi M, Sato T, Ito J, Suda N and Hakeda Y : Osteoclastogenesis is highly dependent on exogenous cholesterol, and deficiency of low density lipoprotein receptor in mice causes impaired osteoclastic cell fusion and increase in bone mass. 33rd Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. San Diego, USA, September 2011

2. 全国学会

(2)シンポジウム

- 1) 三島弘幸, 徳弘将光, 笥 光夫, 見明 康 雄 : カナダ産デボン紀 *Eusthenopteron foodi* の歯と皮甲の組織構造と組成. 化石研究会第 29 回総会, 京都, 2011 年 6 月.
- 2) 笥 光夫 : 生体アパタイトの形成機構 (中心線経路) とイタイイタイ病に関する考察. 化石研究会第 29 回総会, 京都, 2011 年 6 月.
- 3) 三島 弘幸, 笥 光夫, 見明康雄, 笹川一郎 : デボン紀肉鱗類 *Eusthenopteron foodi* の硬

組織の構造と化学組成. 高知大学海洋コア総合研究、高知, 2012年3月.

(3)一般演題

- 1) 佐藤卓也: *In vivo* での骨細胞機能を反映する骨組織モデル培養系の開発. 明海歯科医学会第14回学術大会抄録, 坂戸, 2011年6月.
- 2) 岡安麻里, 林田千代美, 中谷地舞, 佐藤卓也, 伊東順太, 須田直人, 羽毛田慈之: 破骨細胞分化は細胞外 cholesterol に依存し, low density lipoprotein receptor 欠損マウスは破骨細胞の融合障害に起因した骨量増加をみる. 第29回日本骨代謝学会学術集会, 大阪, 2011年7月.
- 3) 林田千代美, 佐藤卓也, 岡安麻里, 中谷地舞, 伊藤順太, 羽毛田慈之: 株化骨細胞 MLO-Y4 は OPG 以外の液性の破骨細胞形成抑制性因子を産生する. 第29回日本骨代謝学会学術集会, 大阪, 2011年7月.
- 4) 岡安麻里, 林田千代美, 中谷地舞, 佐藤卓也, 伊東順太, 須田直人, 羽毛田慈之: 破骨細胞分化過程における細胞内 cholesterol 減少は, Atp6v0d2 を介する細胞融合を抑制し骨量を増加する. 第53回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜, 2011年9月.
- 5) 林田千代美, 佐藤卓也, 中谷地舞, 伊東順太, 岡安麻里, 羽毛田慈之: マウス長骨からの骨細胞の分離方法の検討. 第53回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜, 2011年9月.
- 6) 岡安麻里, 林田千代美, 中谷地舞, 鐘ヶ江晴秀, 須田直人, 羽毛田慈之: Low density lipoprotein receptor 欠損マウス(LDLR-KO)における破骨細胞融合障害と骨量増加. 第70回日本矯正歯科学会大会&第4回国際会議, 名古屋, 2011年10月.
- 7) 筧 光夫: アパタイト結晶?結晶形成の2経路から病的石灰化. 第6回バイオミネラルワークショップ. 東京, 2011年12月.
- 8) 筧 光夫, 吉川正芳, 寒河江登志朗, 三島弘幸: 更年期女性に多発するイタイイタイ病の原因は Cd 暴露とエストロゲン欠乏の相乗効果による. 第6回バイオミネラルワークショップ. 東京, 2011年12月.
- 9) 三島 弘幸, 筧 光夫, 見明康雄, 笹川一郎: *Eusthenopteron foodi* (カナダ産デボン紀)の歯と皮甲の組織構造と化学組成. 第117回日本解剖学会学術集会, 甲府, 2012年3月.
- 10) 筧 光夫, 吉川正芳, 寒河江登志朗, 三島弘幸: イタイイタイ病はカドミウム暴露とエストロゲン欠乏の相乗効果による石灰化不全に起因する. 第117回日本解剖学会学術集会, 甲府, 2012年3月.

E. その他の研究会、講演等

- 1) 筧 光夫: 生体アパタイト結晶の微細構造から学べること. 日本大学松戸歯学部大学院セミナー、松戸, 2012年2月.

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 羽毛田慈之, 佐藤卓也, 金田利夫: 破骨細胞の分化機能におけるコレステロール要求性と caveolin-1 の役割を探る. 科学研究費補助金 基盤研究(C).

生理学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Muramoto K, Hagino-Yamagishi K, Tonosaki K and Kaba H : Accessory olfactory bulb neurons are required for maintenance but not induction of V2R vomeronasal receptor gene expression in vitro. *Neuroscience Letters*, 500, 6-9, 2011 2011.5
- 2) Kurihara K, Nakanishi N and Tomomura A : Interference of kallikrein 1b26 (klk1b26) translation by microRNA specifically expressed in female mouse submandibular glands: an additional mechanism for sexual dimorphism of klk1b26 protein in the glands. *Biol Sex Differ.* 2011 Nov 16; 2: 13. 2011.11

D. 学会発表

2. 全国学会

(2)シンポジウム

- 1) 天野修, 溝部健一, 栗原琴二, 崎山浩司 : 組織化学から見た唾液腺の正常と異常「実験動物の唾液腺の免疫組織化学における問題点」第 52 回組織細胞化学会総会・学術集会, 日本唾液腺学会共催ワークショップ 2011.9

(3)一般演題

- 1) 村本和世, 山岸公子, 椛秀人 : 培養鋤鼻ニューロンでの V2R 鋤鼻受容体の発現維持に関わる副嗅球ニューロンの役割. 第 87 回日本生理学大会, 松本 2012.3
- 2) 栗原琴二 : 唾液腺カリクレイン発現量の性差を決定するマイクロ RNA の分子生物学的解析 : マイクロ RNA の新規生理機能提示. 明海歯科医学会第 14 回学術大会, 埼玉 2011.6
- 3) 栗原琴二, 中西信夫, 友村明人 : 雌マウスに特異的なマイクロ RNA による顎下腺カリクレイン(klk1b26)蛋白質翻訳過程の阻害. 第 53 回歯科基礎医学会総会, 岐阜 2011.9
- 4) 栗原琴二, 中西信夫, 友村明人 : 雌マウスに特異的に発現しているマイクロ RNA による唾液腺のカリクレイン蛋白質翻訳制御による性差発現機構. 第 87 回日本生理学大会, 松本 2012.3

E. その他の研究会、講演等

- 1) Muramoto K : Research in vomeronasal system using cultured cells - Developmental study of the expressoin of vomeronasal receptors. Faculty Seminar, University of Alabama at Birmingham, Birmingham, AL, USA 2011.8

口腔小児科学分野

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 渡部茂：第6章 1歳6か月児健診での歯科チェックのポイント、3歳児健診での歯科チェックのポイント，In：子育て支援ハンドブック チェック版，日本小児医事出版社，東京，425－465p. 2011.11
- 2) 鈴木昭：第6章 う蝕予防とフッ化物塗布，In：子育て支援ハンドブック チェック版，日本小児医事出版社，東京，96－97p. 2011.11
- 3) 高橋昌司：第6章 6歳臼歯の問題点早期発見のポイント，In：子育て支援ハンドブック チェック版，日本小児医事出版社，東京，102－103p. 2011.11
- 4) 渡辺幸嗣：第6章 歯磨き（歯ブラシ。歯磨剤の使用を含めて），In：子育て支援ハンドブック チェック版，日本小児医事出版社，東京，98－99p. 2011.11
- 5) 渡辺幸嗣：第8章 歯科保健 う蝕の予防とフッ化物の塗布 In：子育て支援ハンドブック，日本小児医事出版社，東京 2011.11
- 6) 渡部茂：第8章 歯科保健 口腔機能の発達、歯の異常，1歳6か月児健診での歯科チェックのポイント，3歳児健診での歯科チェックのポイント，よくある口腔内の心配ごと，In：子育て支援ハンドブック，日本小児医事出版社，東京 2011.12
- 7) 吉田美香子：第8章 歯科保健 口唇裂・口蓋裂の一般的知識，In：子育て支援ハンドブック，日本小児医事出版社，東京 2011.12
- 8) 鈴木昭：第8章 歯科保健 う蝕予防とフッ化物塗布，In：子育て支援ハンドブック，日本小児医事出版社，東京 2011.12
- 9) 高橋昌司：第8章 歯科保健 6歳臼歯の問題，In：子育て支援ハンドブック，日本小児医事出版社，東京 2011.12
- 10) 渡部茂：第27章 再石灰化療法，In：今日の小児治療指針今日の小児治療指針，15版，医学書院，東京，100－101p. 2012.2

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 高橋昌司，落合慶行，山田亞由子，中本紀道，依田哲也，渡部茂：低身長症と診断された小児における顎顔面頭蓋部および口腔の成長発育に関する

研究 小児歯誌 49(2): 172-179 2011.6

- 2) Watanabe K, Tanaka T, Shigemi T, Saeki K, Fujita Y, Morikawa K, Nakashima H, Takahashi S, Watanabe S, Maki K : Al and Fe levels in mixed saliva of children related to elution behavior from teeth and restorations Journal of Trace Elements in Medicine and Biology. 25:143-148 2011.6
- 3) 大橋英夫, 林恒彦, 荻原孝, 落合慶行, 栗原仁, 渡辺幸嗣, 渡部茂 : Er:YAG レーザーの照射歯面における再石灰化ならびに耐酸性に関する研究 明海歯科医学 40(2):126-135 2011.9
- 4) 荻原孝, 吉田美香子, 中村朋美, 栗原仁, 渡辺幸嗣, 高橋昌司, 鈴木昭, 渡部茂 : 歯の外傷予防に関する統計調査小児保健研究 70(5) 697-702 2011.10
- 5) Takahashi S, Watanabe S, Ogihara T, Watanabe K, Xuan K, Wang X : Suppressive effects of saliva against enamel demineralization caused by acid beverages Health 3(12):742-747 2011.12
- 6) Zhou S L, Zhou J, Watanabe S, Watanabe K, Wen L Y, Xuan K : In vitro study of the effects of fluoride-releasing dental materials on remineralization in an enamel erosion model Journal of Dentistry 40(3):255-263 2012.3
- 7) Enomoto A, Tanaka T, Kawagishi S, Nakashima H, Watanabe K, Maki K. : Amounts of Sr and Ca Eluted from Deciduous Enamel to Artificial Saliva Related to Dental Caries Biol Trace Elem Res. Mar 6.2012.3

2. 総説

- 1) 渡部茂 : 唾液と口腔内 pH-緩衝能の正しい理解 日本ヘルスケア歯科研究学会誌 12(1) :25-31 2011.6
- 2) 渡部茂 : 口腔環境にかかわる唾液の研究 日本唾液腺学会誌 52:35-41 2011.11
- 3) 渡部茂 : 唾液と口腔の健康 小児保健研究 71(2) : 201-202, 2012.3

C. その他の刊行物等

- 1) 高森一乗, 那須大介, 西山未紗, 佐藤桃子, 大橋英夫, 渡部茂, 白川哲夫 : レーザーはここまできた! Practice&Evidence4 子どもたちへの Er:YAG レーザーを使用した歯科支援歯科展望 117(5) :840-845, 医歯薬出版株式会社, 東京 2011.5

- 2) 渡部茂：口腔を知るための基礎知識 唾液の役割，In：特集 小児科医が知っておきたい歯科・口腔のケアと対応小児歯科診療 74(7)：25-29，株式会社 診断と治療社，東京 2011.7
- 3) 渡部茂：むし歯の予防，In：特集・小児科医のための子どもの歯科 小児内科 43(8)：1322-1326，東京医学社，東京 2011.8
- 4) 渡部茂：初期う蝕の診断（QLF と μ CT を用いて），In：特集 初期齲蝕をさぐる 小児歯科臨床 16(9)：15-20，全国小児歯科開業医会，東京 2011.9
- 5) 渡辺幸嗣：再石灰化療法の実際，In：小児歯科臨床 9月号小児歯科臨床 9月号，東京臨床出版株式会社，P.20-25 2011.9
- 6) 渡部茂：よだれが多い，In：特集・ちょっと気になる症候のみかた考えかた 2011 小児内科 43(10)：1619-1620，東京医学社，東京 2011.10
- 7) 渡部茂：子どもサポートの統合，In：連載 小児歯科医が知っておきたい子ども学，序 小児歯科臨床 17(1)：61-63，全国小児歯科開業医会，東京 2012.1

D. 学会発表

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 渡部茂：唾液と口腔の健康第 58 回日本小児保健協会学術集会，シンポジウム，名古屋 2011.9
- 2) 渡部茂：歯と口腔の健康-唾液の役割-日本小児科学会，第 3 回 園医・看護職・保育士のための研修会，シンポジウム，東京 2011.10

(3) 一般演題

- 1) 大橋英夫，小口寛子，片海智子，渡辺幸嗣，渡部茂：小児に対する局所麻酔時の痛みの配慮—アンケート調査の結果—第 31 回日本歯科薬物療法学会，千葉 2011.6
- 2) 高橋昌司：各種 100%オレンジ果汁飲料の成分分析および QLF 法とマイクロ CT を用いた歯の脱灰におけるリスク評価明海歯科医学会第 14 回学術大会，坂戸 2011.6
- 3) 吉田美香子，高野安紀子，渡部茂：上顎右側犬歯埋伏の 1 症例第 29 回日本顎咬合学会学術大会，東京 2011.6
- 4) 小口寛子，小野義明，片海智子，岩下あいり，黒下礼奈，渡部茂：第一大臼歯に対するフィッシャーシーラントの予防効果 第 58 回日本小児保健協会学術集会，名古屋 2011.9

- 5) 落合慶行：臨界 pH 下初期脱灰病変部におけるエナメル質ミネラル密度の評価 明海歯科医学会第 15 回学術大会，坂戸 2011.10
- 6) 荻原孝，渡部茂：被災地における園児の行動変化 201110 第 8 回子ども学会議学術集会，兵庫 2011.10
- 7) Watanabe K, Ochiai Y, Ogihara T, Watanabe S : Longitudinal evaluation of demineralized enamel at the critical pH 201110JADR 59th Annual Meeting, Hiroshima 2011.10
- 8) 落合慶行，荻原孝，渡辺幸嗣，渡部茂：臨界 pH 下初期脱灰病変部における，エナメル質ミネラル密度の継続的評価 第 26 回小児歯科学会関東地方会，千葉 2011.10
- 9) 渡部茂，荻原孝，小口寛子，沖殿ちひろ，片海智子，山田亜由子，落合慶行，岩下あいり，八木茜，黒下礼奈，渡辺幸嗣，高橋昌司，吉田美香子，鈴木昭，大橋英夫，五十嵐公英：今私たちにできる何か-東日本大震災被災地石巻市における歯科医療活動から-第 26 回小児歯科学会関東地方会，千葉 2011.10
- 10) 渡辺幸嗣：う蝕罹患時の口腔内環境－唾液中微量元素濃度およびエナメル質ミネラル密度の評価－第 26 回日本小児歯科学会関東地方会，若き研究者の集い，千葉 2011.10
- 11) 渡辺幸嗣，荻原孝，落合慶行，渡部茂：エナメル質最初期脱灰病変におけるミネラル密度の経時的評価－マイクロ CT を応用して－第 53 回歯科基礎医学会，岐阜 2011.10
- 12) 小口寛子，荻原孝，落合慶行，片海智子，沖殿ちひろ，渡辺幸嗣，渡部茂：子どもの「歯の治療」に関する常識調査 第 8 回子ども学会議学術集会，兵庫 2011.10
- 13) 藤田優子，渡辺幸嗣，牧憲司：血清アディボカイン濃度は骨粗鬆症の予防因子となるか？第 29 回日本小児歯科学会九州地方会，北九州 2011.10
- 14) 山田亜由子，沖殿ちひろ，片海智子，渡辺幸嗣，那須大介，下山哲夫，渡部茂：乳歯の外傷が後継永久歯の根形成に影響を及ぼした 1 例第 23 回日本小児口腔外科学会総会・学術集会，青森 2011.11
- 15) 高橋昌司，荻原孝，落合慶行，渡辺幸嗣，渡部茂：各種オレンジ果汁飲料によるエナメル質の脱灰-マイクロ CT を用いた定量的脱灰測定-第 49 回小児歯科学会，盛岡 2011.11
- 16) 高橋昌司，落合慶行，渡部茂：低身長症と診断された小児における顎顔面頭蓋部および口腔の成長発育に関する研究 第 28 回日本障害者歯科学会大

会，福岡 2011.11

- 17) 沖殿ちひろ，高橋昌司，荻原孝，片海智子，鈴木正二，坂下英明，渡部茂：坑凝固剤服用中小児患者の全身麻酔下における歯科治療経験 第23回日本小児口腔外科学会学術大会，八戸 2011.11
- 18) 渡辺幸嗣，荻原孝，落合慶行，渡部茂： μ CT を応用したエナメル質ミネラル量の計測 第49回日本小児歯科学会学術集会，盛岡 2011.11
- 19) 吉田美香子，小口寛子，渡部茂：22q11.2 欠失症候群の歯科治療経験第28回日本障害者歯科学会総会および学術大会，福岡 2011.11
- 20) 荻原孝：エナメル質再石灰化に関する基礎的研究－マイクロCTによるミネラル密度の継時的評価－明海歯科医学会第16回学術大会，坂戸 2011.12
- 21) 栗原仁：エナメル質－人工唾液間のミネラル移動－マイクロCTによるエナメル質ミネラル密度の評価－明海歯科医学会第16回学術大会，坂戸 2011.12

E. その他の研究会、講演等

- 1) 渡部茂：口腔（くち）を科学する-食事・会話・口臭・Kiss-彩の国大学コンソーシアム主催 2011年度公開講座，坂戸 2011.9
- 2) 鈴木 昭：母子保健について 小児歯科医の立場から 乳幼児の取り扱いや大学病院臨床状況 平塚歯科医師会，平塚 2011.11

F. 研究助成金等の受入

3. 宮田研究奨励金(A)

- 1) 渡辺幸嗣：萌出後のエナメル質の成熟に関する研究－マイクロCTによるミネラル量と耐酸性の測定－宮田研究奨励金[A] 2011.6

歯科矯正学分野

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 須田直人 (監訳: 黒田敬之): 顎顔面異形成 その治療体系と臨床-. 東京臨床出版 2011.9

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Suda N, Ogawa T, Kojima T, Saito C, Moriyama K. : Familial Non-syndromic Oligodontia with a Novel Frame Shift Mutation of PAX9 is Related to Impaired RNA Stability. J Dent Res, 90 : 382-386. 2011.4
- 2) Kawafuji A, Suda N, Ichikawa N, Kakara S, Suzuki T, Baba Y, Ogawa T, Tsuji M, Moriyama K. : Systemic and maxillofacial characteristics of patients with Beckwith-Wiedemann syndrome not treated with glossectomy. Am J Orthod Dentofacial Orthop 139, 517-525 2011.4
- 3) Kawashima Shigeto, Mikami Youko, Khohara Manabu, Sasaki Au, Otsuka Yuichiro, Mano Mikiko, Matsui Shigeyuki, Kanegae Haruhide : UCLP と習慣性いびきがある児童における頭蓋顔面形態と咽頭気道空間(Craniofacial morphology and pharyngeal airway space in children with UCLP and habitual snoring) Orthodontic Waves 70, 59-64 2011.6
- 4) Hiraike Masato, Ogawa Satomi, Kawashima Shigeto, Kido Seisui, Sasaki Au, Mano Mikiko, Kanegae Haruhide : Craniofacial morphology and pharyngeal airway space in children with UCLP and habitual snoring Orthodontic Waves, 70(2) pp59-64 2011.6
- 5) 村上文登, 金子浩巳, 根岸亜矢子, 大井迪, 長谷川紘也, 桃井知子, 真野樹子, 重松久夫, 横塚裕二, 坂下英明, 鐘ヶ江晴秀: 習慣性鼾症を有する片側性唇顎口蓋裂児の成長発育と顎顔面および気道形態との関連性について明海歯科医学誌 39, 59-64 2011.9
- 6) 大井迪, 木戸政水, 長谷川紘也, 藤本健吾, 友村美根子, 鐘ヶ江晴秀, 須田直人, 友村明人: 閉経後骨粗鬆症モデルマウスに対する血清カルシウム降下因子カルデクリンの遺伝子導入による骨吸収抑制効果 明海歯科医学, 40(2), 146-154 2011.9
- 7) Saito M, Kurokawa M, Oda M, Oshima M, Tsutsui K, Kosaka K, Nakao K, Ogawa M, Manabe RI, Suda N, Ganjargal G, Hada Y, Noguchi T, Teranaka T, Sekiguchi K, Yoneda T, Tsuji T : ADAMTSL6{beta} rescues fibrillin-1 microfibril disorder in Marfan syndrome mouse model through the promotion of fibrillin-1 assembly. J Biol Chem. 286 : 38602-38613, 2011.10
- 8) 吉川紀之, 小林聡, 川島成人, 真野樹子, 桃井知子, 新井美月, 駒沢大悟, 鐘ヶ江晴秀: 習慣性いびきを有する片側性唇顎口蓋裂児の顎顔面形態と気道形態との関連 Orthodontic Waves-Japanese 70, 165-172 2011.10
- 9) 根岸亜矢子, 田島ルミ子, 川島成人, 権田秋華, 真野樹子, 駒沢大悟, 須田直人: 習慣性

いびき症を有する片側性唇顎口蓋裂児の顎顔面形態と気道形態：第2報 習慣性いびき症を有する非裂児との比較. *Orthod Waves* 71, 14-23 2012.3

- 10) 権田秋華, 川島成人, 根岸亜矢子, 真野樹子, 駒沢大悟, 須田直人. : 習慣性いびき症の片側性唇顎口蓋裂児に関する Ricketts 分析の評価：顎顔面形態と気道形態の関連性 *Orthod Waves* 71, 24-32 2012.3

2. 総説

- 1) 大塚雄一郎：矯正臨床通じ異文化交流に口角泡矯正臨床ジャーナル 27(9)pp105-111 2011.9
- 2) Honda MJ, Suda, N. Moriyama K : A new function of Amelogenin. -From Bench to Clinics, and Clinics to bench-. *Journal of Oral Biosciences*. 53 : 241-247 2011.11
- 3) 須田直人：まだ歯がない赤ちゃんの矯正治療. 埼玉歯だより 545, 42-45, 2012.1
- 4) Suda N. : Tooth and bone research using genetically modified mice. *Clin Calcium*., 22 , 27-31. 2012.1
- 5) 富塚慶徳, 梅崎栄作, 松井成幸, 駒澤大悟, 須田直人：デジタル画像相関法による下顎臼歯遠心移動の解析第43回応力・ひずみ測定および強度評価シンポジウム講演論文集 2012.1
- 6) 須田直人：知らずに診ている先天性疾患埼玉歯だより 545 27-31 2012.3

3. 症例報告

- 1) Suda N, Tominaga N, Niinaka Y, D Amagasa T, Moriyama K. : Orthognathic treatment of a facial asymmetric case associated with unilateral scissors bite and collapsed lower arch. *Am J Orthod Dentofacial Orthop*, 14 : 94-104. 2012.1
- 2) 吉武崇, 大塚雄一郎, 佐々木会, 成田亜希子, 松井成幸, 須田直人：頭蓋底部と下顎骨に特異な成長パターンをみた重度下顎前突の1例 *明海歯学誌* 40 : 199-211. 2012.9

C. その他の刊行物等

- 1) 駒澤大悟, 松井成幸, 大塚雄一郎, 櫻井洋介, 神原 学, 須田直人, 富塚慶徳, 梅崎栄作：上顎中切歯傾斜角が異なる三次元有限要素モデルにおける荷重時の応力分布の違い第2回 *Mechanical Finder* ユーザー研究会資料 2011.8
- 2) 富塚慶徳, 梅崎栄作, 松井成幸, 駒澤大悟, 須田直人：インプラントアンカーを利用した臼歯遠心移動有限要素解析第2回 *Mechanical Finder* ユーザー研究会資料 2011.8

D. 学会発表

1. 国際学会

(2) シンポジウム

- 1) 須田直人：歯科のオリジナリティーに根差した基礎研究の意義. 第70回東京矯正歯科学会. 2011.7
- 2) Naoto Suda : Effect of Angiotensin II receptor blocker on the experimental periodontitis in the

mouse model of Marfan syndrome. Gordon-Kenan Research Seminar. Biddeford, ME, USA, 2011.7

- 3) Naoto Suda : Fibrillin-1 is essential for the normal tissue architecture and gene expression of periodontal ligament. Gordon research conference. Biddeford, ME, USA, 2011.7
- 4) 須田直人 : 歯根膜における弾性線維の機能を考える. サテライトセミナー「歯周組織とは? 発生・由来・機能について考える」. 第53回歯科基礎医学会. 2011.9

(3)一般演題

- 1) M.Kakei, T.Sakae, H. Mishima, M.Yoshikawa : Effect of estrogen deficiency on formation of apatite crystals. European Calcified Tissue Society (欧州硬組織学会) 2011.5
- 2) Y. Tomizuka Y, Umezaki E, Matsui S, Komazawa D, Suda N. : Finite Element Analysis of Movement of Lower Jaw Molars Using Implant AnchorProc. 6th Intl. Symp. on Advanced Science and Technology in Experimental Mechanics 2011.11
- 3) Okayasu M, Hayashida C, Nakayachi M, Sato T, Ito J, Suda N, Hakeda Y. : Osteoclastogenesis is Highly Dependent on Exogenous Cholesterol, and Deficiency of Low Density Lipoprotein Receptor in Mice Causes Impaired Osteoclastic Cell Fusion and Increase in Bone Mass. Annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research, September 16-20, 2011, San Diego, California, USA, San Diego Convention Center 2012.9

2. 全国学会

(1)特別講演

- 1) 須田直人 : 生涯研修セミナー「矯正歯科と遺伝性疾患」第70回日本矯正歯科学会. 2011.10
- 2) 吉川正芳 : ミラノール洗口液のエナメル質結晶に及ぼす再石灰化および構造向上効果の有無について、 歯科矯正治療の観点から第31回日本フッ素研究会、東京 2011.11

(2)シンポジウム

- 1) 須田直人 : これからの歯科医療に大学病院矯正歯科ができること明海大学歯学部同窓会 埼玉県支部講演会. 2011.11
- 2) 笥 光夫、吉川正芳、寒河江登志朗、三島弘幸 : 更年期女性に多発するイタイイタイ病の Cd 暴露とエストロゲン欠乏の相乗効果による東京大学バイオミネラル 2011.12
- 3) 須田直人 : 日常歯科臨床における矯正治療. 第32回 PDI 研修医症例報告会・特別講演会. 2012.3

口腔生物再生医工学講座

生 化 学 分 野

微 生 物 学 分 野

歯 周 病 学 分 野

基 礎 生 物 学 分 野

基 礎 化 学 分 野

生化学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Kushida T, Makino T, Tomomura M, Tomomura A, and Sakagami H : Enhancement of Dectin-2 gene expression by lignin-carbohydrate complex from *Lentinus edodes* mycelia extract (LEM) in a mouse macrophage-like cell line. *Anticancer Res.* 31(4), 1241-1248 2011.4
- 2) Horii H, Ueda J, Tamura M, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y : New biological activity of *Rhinacanthus nasutus* extracts. *In Vivo* 25(3), 367-373 2011.5
- 3) Masuda Y, Ueda J, Tamura M, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y : Diverse biological activity of *Odontioda Marie Noel* ‘Velano’ extracts. *In Vivo* 25(3), 375-380 2011.5
- 4) Masuda Y, Ueda J, Tamura M, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y : Diverse biological activity of *Odontoglossum Harvengtens* ‘Tutu’ bulb extracts. *In Vivo* 25(3), 381-386 2011.5
- 5) 大井迪, 木戸政水, 長谷川紘也, 藤本健吾, 友村美根子, 鐘ヶ江晴秀, 須田直人, 友村明人 : 閉経後骨粗鬆症モデルマウスに対する血清カルシウム降下因子カルデクリンの遺伝子導入による骨吸収抑制効果 *明海歯科医学* 40(2), 146-154 2011.9
- 6) Kurihara K, Nakanishi N, and Tomomura A. : Interference of kallikrein 1b26 (klk1b26) translation by microRNA specifically expressed in female mouse submandibular glands: an additional mechanism for sexual dimorphism of klk1b26 protein in the glands. *Biol. Sex Differ.* 16;2:13 2011.11
- 7) Inoue H, Miyazaki Y, Kikuchi K, Yoshida N, Ide F, Ohmori Y, Tomomura A, Sakashita H, and Kusama K : Podoplanin expression during dysplasia-carcinoma sequence in the oral cavity. *Tumour Biol.* 33(1), 183-194 2012.2

2. 総説

- 1) Furuichi T, Shiraishi- Yamaguchi Y, Sato A, Sadakata T, Huang J-H, Shinoda Y, Hayashi K, Mishima Y, Tomomura M, and Yoshikawa F: Systematizing and cloning of genes involved in the cerebellar cortex circuit development. *Neurochem. Res.* 36(7), 1241-1252 2011.7

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Takano T, Tomomura M, Yoshioka N, Tsutsumi K, Yamazaki R, Saito T, Kawano H, Fukuda M, and Hisanaga S: AATYK1 phosphorylation by Cdk5 regulates axon outgrowth via recycling endosome pathway. 23th Biennial Meeting of International Society of Neurochemistry, Athens, 2011.8
- 2) Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Kushida T and Makino T: Enhanced Dectin-2 gene expression by lignin-carbohydrate complex in macrophages. 45th Meeting of the Continental European Division of the International Association of Dental Research (CED-IADR), Budapest 2011.9
- 3) Takano T, Tomomura M, Yoshioka N, Tsutsumi K, Terasawa Y, Kawano H, Fukuda M, and Hisanaga S: LMK1/AATYK1 regulates axon outgrowth negatively via recycling endosome pathway. Neuroscience 2011, Washington DC 2011.11

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) Takano T, Tomomura M, Yoshioka N, Tsutsumi K, Yamazaki R, Saito T, Kawano H, Fukuda M, and Hisanaga S: AATYK1 phosphorylation by Cdk5 regulates axon outgrowth via recycling endosome pathway. 第63回日本細胞生物学会大会, 札幌 2011.6
- 2) 友村明人、友村美根子、長谷川紘也、須田直人：血清カルシウム降下因子カルデクリンは成熟破骨細胞の Src-Syk-Calcium 経路を阻害して骨吸収を抑制する 第84回日本生化学会大会、京都 2011.9
- 3) 増田裕子、上田純也、田村雅史、白瀧義明、坂上 宏、友村美根子、友村明人：ラン科植物 *Odontoglossum Harvengtense* 'Tutu' バルブ抽出物の生理活性について 第58回日本生薬学会、東京 2011.9
- 4) 高野哲也、友村美根子、吉岡望、堤弘次、寺沢雄吉、川野仁、福田光則、久永眞市：Cdk5-LMTK1/AATYK1-Rab11 は軸索伸長を制御する新たなシグナル経路である 第54回日本神経化学会、金沢 2011.9
- 5) 坂上宏、松田友彦、岩本 祥子、友村美根子、友村明人、櫛田達矢、牧野徹：シイタケ菌糸体由来リグニン配糖体による Dectin-2 遺伝子発現の増強 第53回日本歯科基礎医学会総会、岐阜 2011.10

- 6) 長谷川紘也、友村美根子、須田直人、友村明人：成熟破骨細胞の機能における血清カルシウム降下因子カルデクリンの抑制効果 第 53 回日本歯科基礎医学会総会、岐阜 2011. 10
- 7) 栗原琴二、中西信夫、友村明人：雌マウスに特異的なマイクロ RNA による顎下腺カリクレイン(klk1b26) 蛋白質翻訳過程の阻害 第 53 回日本歯科基礎医学会総会、岐阜 2011. 10
- 8) 長谷川紘也、木戸政水、友村美根子、友村明人、須田直人：破骨細胞の分化における血清カルシウム降下因子カルデクリンの抑制効果 第 58 回日本矯正歯科学会、名古屋 2011. 10
- 9) 友村美根子、長谷川紘也、須田直人、坂上宏、友村明人：Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, suppresses RANKL-stimulated bone resorptive activity of mature osteoclasts. 第 34 回日本分子生物学会、横浜 2011. 12
- 10) Kinji Kurihara, Nobuo Nakanishi and Akito Tomomura : Interference of kallikrein translation in mouse submandibular glands by female-specific microRNA: an additional mechanism for sexual dimorphism of the protein expression. 第 89 回日本生理学会、松本 2012. 3

微生物学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 大森喜弘, 天野滋, 廣井美紀 : 2011 年度 微生物学実習 第3版. DTP 出版, 東京 2011.
- 2) Fukuda, M., Ohmori, Y. and Sakashita, H. : The Role of Tumor Microenvironment in Oral Cancer. *In: Tumor Microenvironment and Myelomonocytic Cells*, Biswas, S.K., ed. InTech, Rijeka, Croatia, 201-218, 2012.

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Mori, K., Hiroi, M., Sakaeda, Y., Shimada, J. and Ohmori, Y. : Infiltration of M2 tumor-associated macrophages in oral squamous cell carcinoma correlates with tumor malignancy. *Cancers*, 3, 3726-3739, 2011.
- 2) Inoue, H., Miyazaki, Y., Kikuchi, K., Yoshida, N., Ide, F., Ohmori, Y., Tomomura, A., Sakashita, H. and Kusama, K. : Podoplanin expression during dysplasia-carcinoma sequence in the oral cavity, *Tumour Biol*, 33, 183-194, 2012.

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 廣井美紀, 大森喜弘 : 抗炎症性 M2 マクロファージにおける *Arg-1* 遺伝子発現制御機構, 第 53 回日本歯科基礎医学会総会, 岐阜, 2011 年 10 月.
- 2) 天野滋, 関根圭輔, 大森喜弘 : 破骨細胞分化における内因性 Wnt シグナルの役割, 第 53 回日本歯科基礎医学会総会, 岐阜, 2011 年 10 月.
- 3) 森一将, 廣井美紀, 嶋田淳, 大森喜弘 : 口腔領域の腫瘍および上皮性異型性における M2 マクロファージの発現動態, 第 56 回日本口腔外科学会, 大阪, 2011 年 10 月.

E. その他の研究会、講演など

- 1) 天野滋 : う蝕・歯周病予防に関する垂直感染・水平感染経路の遮断について考える, 平成 23 年度金蘭会夏期研修会, 船橋, 2011 年 8 月.

- 2) 柴田由一：マウスマクロファージ様細胞株におけるインターロイキン-4による一酸化窒素合成酵素遺伝子発現の抑制機構，第 191 回 明海大学大学院 歯学研究科研究発表会，坂戸，2012 年 1 月。

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 大森喜弘、廣井美紀：基盤研究 (C) 抗炎症性マクロファージにおける遺伝子発現制御機構の解析。
- 2) 天野 滋、関根圭輔：基盤研究 (C) 破骨細胞分化と機能発現機構における内因性ウイントシグナルの関与の解明。
- 3) 廣井美紀 (研究代表者)：若手研究 (B) 低酸素によるインターフェロン・ガンマー誘導性遺伝子発現の抑制機構の解析。
- 4) 森 一将、大森喜弘：基盤研究 (C) 新規アポトーシス制御因子 GRIM-19 の発現制御機構の解析科学研究補助金。
- 5) 坂下英明、福田正勝、大森喜弘：基盤研究 (C) サイトカインを標的とした口腔癌の増殖・進展メカニズムの解明科学研究補助金 基盤研究。

2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 天野 滋：サンビアン株式会社，歯周病原菌に対する「BLIS ケア」の増殖抑制効果について。

3. 宮田研究奨励金 (A) および (D)

- 1) 天野 滋：宮田研究奨励金 (A)、破骨細胞分化機能発現における MEK5-ERK5-Mef2d 経路の役割。

歯周病学分野

A.著書・訳本

1.著書

- 1) 申 基喆：④歯周治療、歯周病患者に対するインプラント治療の基本知識と手技の基礎 In：若き歯科医師のためのクリニカル・ベーシックセミナー,Medical Tribune 社,2011.6
- 2) 大塚秀春：column 歯周病の病理 歯周炎とインプラント周囲炎の病理像の比較 In. 和泉雄一, 申 基喆, 二階堂雅彦, 松井徳雄編, DENTAL DIAMOND 増刊号 インプラント時代の歯周マネジメント 確かな機能回復の成果をえるために ,デンタルダイヤモンド社, 東京, P31,2011.10
- 3) 難波智美：column 天然歯とインプラント治療の咬合 In. 和泉雄一, 申 基喆, 二階堂雅彦, 松井徳雄編, DENTAL DIAMOND 増刊号 インプラント時代の歯周マネジメント 確かな機能回復の成果をえるために,デンタルダイヤモンド社, 東京, P.87,2011.10
- 4) 和泉雄一, 申 基喆, 二階堂雅彦, 松井徳雄編著：インプラント時代の歯周マネジメント 確かな機能回復の成果をえるために,デンタルダイヤモンド社, 東京,2011.10
- 5) 林 丈一朗：インプラント治療後のメンテナンス In. 和泉雄一, 申 基喆, 二階堂雅彦, 松井徳雄編, DENTAL DIAMOND 増刊号 インプラント時代の歯周マネジメント 確かな機能回復の成果をえるために,デンタルダイヤモンド社, 東京, P.152-155,2011.10
- 6) 辰巳順一：インプラント周囲溝滲出液 In. 小宮山彌太郎監修, 木津康博編, インプラント修復の臨床基本手技 4 トラブル対応とメンテナンス,デンタルダイヤモンド, 東京, P74-75,2011.10
- 7) 辰巳順一：インプラント周囲組織炎の治療 In. 小宮山彌太郎監修, 木津康博編, インプラント修復の臨床基本手技 4 トラブル対応とメンテナンス,デンタルダイヤモンド, 東京, P.84-85,2011.10
- 8) 辰巳順一：インプラント周囲粘膜炎の治療 In. 小宮山彌太郎監修, 木津康博編, インプラント修復の臨床基本手技 4 トラブル対応とメンテナンス,デンタルダイヤモンド, 東京, P82-83,2011.10
- 9) 辰巳順一：プロービング In. 小宮山彌太郎監修, 木津康博編, インプラント修復の臨床基本手技 4 トラブル対応とメンテナンス,デンタルダイヤモンド, 東京, P76-77,2011.10
- 10) 辰巳順一：角化付着歯肉がない場合 In. 小宮山彌太郎監修, 木津康博編, インプラント修復の臨床基本手技 4 トラブル対応とメンテナンス,デンタルダイヤモンド, 東京, P80-81,2011.10
- 11) 辰巳順一：歯周病との関連性 In. 小宮山彌太郎監修, 木津康博編, インプラント修復の臨床基本手技 4 トラブル対応とメンテナンス,デンタルダイヤモンド, 東京, P68-69,2011.10
- 12) 辰巳順一：歯周病原細菌検査 In. 小宮山彌太郎監修, 木津康博編, インプラント修復の臨床基本手技 4 トラブル対応とメンテナンス,デンタルダイヤモンド, 東京, 70-71,2011.10

- 13) 辰巳順一：周囲骨の吸収 In. 小宮山彌太郎監修，木津康博編，インプラント修復の臨床基本手技4 トラブル対応とメンテナンス,デンタルダイヤモンド，東京，P78-79,2011.10
- 14) 辰巳順一：周囲粘膜の発赤・腫脹 In. 小宮山彌太郎監修，木津康博編，インプラント修復の臨床基本手技4 トラブル対応とメンテナンス,デンタルダイヤモンド，東京，P72-73,2011.10
- 15) 辰巳順一：重度歯周病症例への対応 コーヌステレスコープ義歯を用いた重度歯周炎患者への口腔機能回復 In. 和泉雄一，申 基喆，二階堂雅彦，松井徳雄編，DENTAL DIAMOND 増刊号インプラント時代の歯周マネジメント 確かな機能回復の成果をえるために,デンタルダイヤモンド社，東京，P102-110,2011.10
- 16) 辰巳順一：要介護状態になった場合 In. 小宮山彌太郎監修，木津康博編，インプラント修復の臨床基本手技4 トラブル対応とメンテナンス,デンタルダイヤモンド，東京，P.86-87,2011.10
- 17) 申 基喆：力のコントロール In. 和泉雄一，申 基喆，二階堂雅彦，松井徳雄編，インプラント時代の歯周マネジメント 確かな機能回復の成果をえるために,デンタルダイヤモンド，東京，P48-57,2011.10

B. 学術論文

1.原著

- 1) 成田宗隆，辰巳順一，難波智美，西村将吾，呂宗彦，寺西麻里奈，鈴木玲爾，大西英知，谷田部一大，申基喆：イヌ実験的インプラント周囲炎に対する各種除染方法の有効性に関する研究，明海歯学(J Meikai Dent Med) 40(2), 112-125, 2011,2011.9
- 2) 三上晃一郎，大塚秀春，難波智美，寺西麻里奈，児島暁，成田宗隆，大西英知，谷田部一大，鈴木玲爾，林丈一朗，辰巳順一，申基喆：歯周病患者におけるショートインプラントの臨床的評価,明海歯学(J Meikai Dent Med) 40(2), 180-188, 2011,2011.9
- 3) 鈴木玲爾，辰巳順一，松本篤樹，溝部健一，川邊好弘，小川洋一，遠藤 学，申 基喆，荒木久生：明海大学歯学部附属明海大学病院 PDI 診療センターにおける7年間の骨結合型インプラント治療の実態調査,明海歯学(J Meikai Dent Med) 40(2), 103-111, 2011.,2011.9
- 4) 高橋哲哉，小林健二，牛込瑛子，小谷依子，申 基喆：薬剤を用いた NiTi ファイル破折片除去に関する研究 -2種類の薬剤が異なる表面性状を有する市販 NiTi ファイルの腐食に及ぼす影響-,明海歯学，40(2), 155-161,2011.9
- 5) 中村裕子，橋本 研，小此木 雄，牛込瑛子，橋島弓子，高橋哲哉，小林健二，小谷依子，坂上 宏，鈴木玲爾，申 基喆：次亜塩素酸電解水の細胞傷害性およびアルカリホスファターゼ活性に及ぼす影響,日本歯科保存学雑誌 54 (5) 331-340,2011.10
- 6) 鈴木玲爾，辰巳順一，松本篤樹，溝部健一，小野裕貴，林 鋼兵，申 基喆，荒木久生：ヒーリングアバットメントを用いたインプラント除染方法の基礎的検討,明海歯学 41(1), 34-43,

2012,2012.2

- 7) 難波智美, 林 丈一郎, 石井麻紀子, 戸梶仁聡, 寺西麻里奈, 遠藤 学, 小川洋一, 児島 暁, 大塚秀春, 申 基喆 : 歯周病患者におけるショートインプラントの臨床的評価に対するインプラント治療の治療成績に関する後ろ向き研究—骨造成の有無と術式が予後に及ぼす影響について—, 日歯周誌, 54(1), 18-30, 2012.3

C. その他の刊行物等

- 1) 申 基喆 : 歯周病学基礎実習書, リューワ印刷, 坂戸, 2011.6
- 2) 申 基喆 : 新しい歯の話 歯周病(ペリオ)について, Meikak News Letter, vol.198, 2011.7
- 3) 藤澤政紀, 遠藤 聡, 片山 直, 小澤有美, 申 基喆, 林 丈一郎 : 審美歯科関係外来紹介 明海大学病院, 審美歯科, 24 (1), 29-29, 2011.9
- 4) 申 基喆 : インプラント治療における問題とその対応 —術後のメンテナンス時における注意点—, ヒョーロンパブリッシャーズ, 日本歯科評論、東京、61-70, 2011.10

D. 学会発表

1. 国際学会

(1) 特別講演

- 1) Joichiro Hayashi : The successful use of osseointegrated implants for the treatment of the patient with periodontitis, The 16th China International Dental Exhibition and Scientific Conference, , 2011.6
- 2) 申 基喆 : Prevention and it's Treatment for Peri-implantitis, ITX Implant Summit 2011, 東京, 2011.10

(3) 一般演題

- 1) Yuko NAKAMURA, Yoriko Kotani, Yu Okonogi, Yumiko Hashijima, Kitetsu Shin : Antibacterial effects of neutral electrolyzed functional water on Enterococcus faecalis-derived biofilm, 14th BIENNIAL CONGRES of the EUROPEAN SOCIETY of ENDODONTOLOGY. Rome. Italy, 2011.9
- 2) Teteuya Takahashi, Kenji Kobayashi, Eiko Ushigome, Takashi Kure, Kitetsu Shin : Basic studies on removal of broken NiTi endodontic files, 14th BIENNIAL CONGRES of the EUROPEAN SOCIETY of ENDODONTOLOGY. Rome. Italy, 2011.9
- 3) Ishii M, Tatsum J, Nishimura S, Teranishi M, Otsuka H, Namba S, Onishi H, and Shin K : Adherent mononuclear cells from peripheral blood (AMPB) with micron granular beta-TCP stimulate bone formation in vivo, 97th Annual Meeting for the American Academy of Periodontology, Miami Beach, FL, USA, 2011.11
- 4) Yatabe K, Tatsumi J, Ono Y, Hayashi K, Jinzenji S, Narita M, Onishi H, Namba S, Otsuka H, Hayashi J and Shin K : Study on the decontamination of dental implant surface, 15th Annual Meeting Korean Academy of Periodontology, Seoul, Korea , 2011.11
- 5) Junichi Tatsumi, Munetaka Narita, Koichiro Mikami, Munehiko Ro, Joichiro Hayashi, Kazuhiro Yatabe, and Kitetsu Shin : The effectiveness of various decontamination methods for peri-implantitis in

dogs,97th Annual Meeting for the American Academy of Periodontology, Miami Beach, FL, USA,2011.11

2. 全国学会

(1)特別講演

- 1) 申 基喆:インプラント周囲炎の予防とその対応 -インプラント治療に関するアンケート調査結果を踏まえて-,第54回 春季日本歯周病学会学術大会 口腔インプラント委員会主催教育講演, 福岡,2011.6

(2)シンポジウム

- 1) 申 基喆:Live Surgery フラップ手術、治療目的に応じたペリオドンタルフラップマネジメントの考え方と実践,第29回日本顎咬合学会学術大会, 東京,2011.6

(3)一般演題

- 1) 大西英知, 中島琢磨, 寺西麻里奈, 新家央康, 市村 光, 林 丈一朗, 荒川真一, 和泉雄一, 申基喆:歯周炎患者由来歯肉溝滲出液が *Tannerella forsythia* FDF に与える影響,第54回 春季日本歯周病学会学術大会, 福岡,2011.5
- 2) 呂 宗彦, 難波智美, 石井 麻紀子, 山村加奈子, 渡辺 和志, 谷田部 一大, 大塚 秀春, 辰巳順一,申 基喆:上皮下結合組織移植術と EMD を併用した根面被覆術に関する研究-メンテナンスを継続できなかつた症例の5年後臨床的評価-,第54回 春季日本歯周病学会学術大会, 福岡,2011.5
- 3) 福嶋太郎, 小村尚徳, 小林朋裕, 申基喆:肉芽腫性エプーリスを伴った慢性歯周炎患者の一症例,第54回 春季日本歯周病学会学術大会, 福岡,2011.5
- 4) 呂 宗彦:*Tannerella forsythia* 特異的基質の合成とその歯周病診断への応用に関する研究,明海歯科医学会第14回学術大会, 坂戸,2011.6
- 5) 大西英知:*Tannerella forsythia* 特異的歯周病診断試薬の開発に関する研究,明海歯科医学会第14回学術大会, 坂戸,2011.6
- 6) 小林健二, 中村裕子, 小谷依子, 高橋哲哉, 牛込瑛子, 橋島弓子, 申 基喆:亜脱臼した上顎前歯部に見られた *Transient Apical Breakdown* の症例,第134回 日本歯科保存学会学術大会, 幕張,2011.6
- 7) 三上晃一郎:イヌ実験的インプラント周囲炎に対する種々の除染処置の有効性に関する組織学的検討,明海歯科医学会第14回学術大会, 坂戸,2011.6
- 8) 石井麻紀子:イヌ末梢血由来付着性単核球とミクロン TCP による骨再生効果,明海歯科医学会第14回学術大会, 坂戸,2011.6
- 9) 西村将吾:低出力パルス超音波が歯周外科処置後の創傷治癒に与える影響,明海歯科医学会第14回学術大会, 坂戸,2011.6
- 10) 安井照美, 難波智美, 福嶋太郎, 横井宏幸, 林 鋼兵, 小野裕貴, 西村将吾, 大西英知, 谷田

- 部一大、大塚秀春、辰巳順一、申 基喆：明海大学歯学部附属明海大学病院歯周病科におけるインプラント治療の実態調査,第 54 回 秋季日本歯周病学会学術大会, 下関,2011.9
- 11) 成田宗隆, 林 丈一朗, 申 基喆：薬物性歯肉増殖を伴う慢性歯周炎患者の一症例,第 54 回 秋季日本歯周病学会学術大会, 下関市,2011.9
- 12) 小此木雄, 中村裕子, 小林健二, 小谷依子, 高橋哲哉, 牛込瑛子, 橋島弓子, 申 基喆：4-META/MMA-TBB レジンの象牙質接着に及ぼす次亜塩素酸電解水の影響,第 135 回 日本歯科保存学会学術大会, 大阪,2011.10
- 13) 小林健二, 中村裕子, 小谷依子, 高橋哲哉, 牛込瑛子, 橋島弓子, 申 基喆：亜脱臼した上前歯にみられた Transient Apical Breakdown(TAB)を生じたと考えられる 1 症例,第 135 回 日本歯科保存学会学術大会, 大阪,2011.10
- 14) 石井麻紀子, 辰巳順一, 袴塚康治, 安武幹智, 岩元 潮, 西村将吾, 呂 宗彦, 三上晃一郎, 申 基喆：末梢血由来細胞とマイクロン TCP を用いた再生療法,第 1 回 日本歯周病学会関東 9 大学・日本臨床歯周病学会関東支部合同研修会, 東京,2012.2

E. その他の研究会、講演等

- 1) 林 丈一朗：クリニカルステップアップセミナー 3. 歯周 「ステップアップ歯周基本治療」, 明海大学・朝日大学生涯研修部研修部, 東京,2011.6
- 2) 辰巳順一：創傷治癒から考えた縫合法 歯周・インプラント外科処置に必要な基本知識とテクニック,第 29 回日本顎咬合学会学術大会, 東京,2011.6
- 3) 大塚秀春：バイオフィルムから再考する歯周基本治療,(社)大東市歯科医師会主催学術講演会, 大東市民会館, 2011 年 6 月 25 日,2011.6
- 4) 申 基喆, 辰巳順一, 林 丈一朗：歯周外科シリーズ① ペリオとインプラントのためのスーチャリングテクニック 誰も教えてくれなかった縫合理論と、役に立つ 12 種類の縫合,明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 明海大学 PDI 浦安歯科診療所, 浦安,2011.6
- 5) 申 基喆:若き歯科医師のためのクリニカルベーシックセミナー ―卒後 5 年以内の歯科医師を対象― 4. 歯周治療「わかっていてもうまくいかない歯周治療の基本知識・手技」,明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 明海大学 PDI 浦安歯科診療所, 浦安,2011.6
- 6) 申 基喆：診断に基づいたフラップの設計、切開から縫合まで(有料ハンズオン),第 29 回日本顎咬合学会学術大会, 東京,2011.6
- 7) 申 基喆, 辰巳順一：基礎から始める歯周治療 ―一口腔一単位の治療を成功に導くために― 第 1 回 歯周診査と病態把握のコツ,明海大学歯学部同窓会 2011 年度学術研修会, 東京,2011.7
- 8) 申 基喆, 林 丈一朗：基礎から始める歯周治療 ―一口腔一単位の治療を成功に導くために― 第 2 回 治療計画の立て方と歯周基本治療,明海大学歯学部同窓会 2011 年度学術研修会, 東京,2011.9

- 9) 申 基喆, 辰巳順一, 林 丈一朗: 歯周外科シリーズ② ペリオとインプラントのためのハード
ティッシュマネジメント 歯周病患者に対する確実に低侵襲な歯周、インプラントの骨造成,
明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 明海大学 PDI 浦安歯科診療所, 浦安,2011.9
- 10) 辰巳順一: 病態把握のための検査・歯周治療に用いる器具,明海大学歯学部四国人会同窓会主催
研修会, 松山,2011.9
- 11) 申 基喆, 難波智美: 基礎から始める歯周治療 ――口腔一単位の治療を成功に導くために―
第 3 回 ペリオドンタル・インスツルメンテーションと SRP,明海大学歯学部同窓会 2011 年度
学術研修会, 東京,2011.10
- 12) 林 丈一朗: 歯周基本治療とペリオドンタルメディシン,明海大学歯学部四国人会同窓会主催研
修会, 松山,2011.10
- 13) 申 基喆, 林 丈一朗: 基礎から始める歯周治療 ――口腔一単位の治療を成功に導くために―
第 4 回 ペリオドンタルフラップ・マネージメント,明海大学歯学部同窓会 2011 年度学術研修
会, 東京,2011.11
- 14) 申 基喆: 基礎から始める歯周治療 ――口腔一単位の治療を成功に導くために― 第 5 回
歯周再生療法とペリオ・インプラントのソフト・ティッシュ・万―地面と,明海大学歯学部同窓
会 2011 年度学術研修会, 東京,2011.12
- 15) 申 基喆, 林 丈一朗: 歯周外科シリーズ③ ペリオドンタル&ペリインプラント・プラスティ
ック・サージェリー,明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 明海大学 PDI 浦安歯科診療所, 浦
安,2011.12
- 16) 申 基喆, 辰巳順一: 基礎から始める歯周治療 ――口腔一単位の治療を成功に導くために―
第 6 回 インプラントを含めた歯周病患者の機能回復法,明海大学歯学部同窓会 2011 年度学術
研修会, 東京,2012.1
- 17) 辰巳順一: aPDT ペリオウエイブのインプラント周囲炎への臨床応用とその有効性についての
中間報告,第 1 回ペリオウエイブ臨床研究会、東京、2 月 26 日 ,2012.2
- 18) 辰巳順一: インプラント周囲炎への対応,第 4 回明海大学歯学部付属明海大学病院 病診連携講
習会、埼玉、2 月 16 日,2012.2
- 19) 申 基喆, 林 丈一朗: 基礎から始める歯周治療 ――口腔一単位の治療を成功に導くために―
第 7 回 デンタルスーチャリングと豚顎を用いたフラップ手術(ハンズオン, エムドゲイン・ゲ
ルの実習含む) ,明海大学歯学部同窓会 2011 年度学術研修会, 東京,2012.2
- 20) 申 基喆, 林 丈一朗: 歯周外科シリーズ④ ペリオドンタル・フラップサージェリー・ライブ
オペコース,明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 浦安,2012.2
- 21) 申 基喆: 知ってほしい, 歯周病の実態 ――医科, 歯科連携のために―,埼玉歯科医師会主催,
平成 23 年度糖尿病と歯周病に係る医科歯科連携推進講習会, さいたま,2012.3
- 22) 申 基喆: 全身疾患とも関連のある感染症 歯周病,聖教新聞, 東京, 2011 年 11 月 11 日号,2011.11

F. 研究助成金等の受入

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 大西英知：表面プラズモン共鳴を用いた歯周病診断システムの開発，平成 23～24 年度科学研究補助金(若手研究(B)),平成 23～24 年度科学研究補助金(若手研究(B))(課題番号 23790626),2011.5

3. 宮田研究奨励金

- 1) 大西英知：表面プラズモン共鳴光ファイババイオセンサを利用した抗 Forsythia Detaching Factor 抗体の検出に関する研究，2011 年度宮田研究奨励金【A】，2011 年度宮田研究奨励金【A】，2011.6

基礎生物学分野

D. 学会発表

2. 全国大会

(3) 一般演題

- 1) 三笠 建次：筆記試験と多肢選択試験の関係の年度内および年度間の比較. 日本テスト学会第9回大会. 岡山. 2011年9月.

基礎化学分野

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 石原 真理子：科学特論Ⅲ（化学）講義ノート，（株）博文社（埼玉），2012年3月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 坂上宏，石原真理子，齋藤潤，東風幹子，東風睦之：イチジクの揮発性画分より単離されたベンズアルデヒドーその抗腫瘍活性と誘導体の開発ー New Food Industry 53 (10) 27-43, 2011
- 2) Uesawa, Y., Mohri, K., Kawase, M., Ishihara, M., Sakagami, H. : Quantitative structure activity relationship (QSAR) analysis of tumor-specificity of 1,2,3,4-tetrahydroisoquinoline derivatives. Anticancer Res 31:4231-4238, 2012

C. その他の刊行物等

- 1) 石原 真理子：2011年度総合理科実験，78-115 ページ，（有）リュウワ印刷（埼玉），2011年9月

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 石原 真理子，山内 雅司：ヒト口腔癌細胞に傷害活性を有する新規イソキノリン誘導体類のデザイン．第53回歯科基礎医学会学術大会，長良川国際会議場（岐阜）2011年10月
- 2) 石原真理子，齋藤潤，東風幹子，坂上宏：Role of hydrogen peroxide in the cytotoxicity induction by sodium 5,6-benzylidene -L-ascorbate and benzaldehyde. 第85回日本薬理学会年会，国立京都国際会館（京都），2012年3月
- 3) 植沢芳広，毛利公則，河瀬雅美，石原真理子，坂上宏：分子軌道法を用いた1,2,3,4-テトラヒドロイソキノリン誘導体の構造ー腫瘍選択性相関解析．第85回日本薬理学会年会，国立京都国際会館（京都），2012年3月

F. 研究助成金等の受入

1. 文部科学省研究費補助金

- 1) 石原 真理子：半経験的分子軌道法による歯科薬剤／材料の毒性評価と新規物質のデザイン。平成 23～25 年度科学研究費補助金，基盤研究 (C) (課題番号 23592898)

機能保存回復学講座

歯科生体材料学分野

歯科補綴学分野 1

歯科補綴学分野 2

保存修復学分野

歯内療法学分野

オーラル・リハビリテーション学分野

基礎物理学分野

歯科生体材料学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 日比野 靖, 長沢悠子, 春日祐太, 中畠 裕 : Introduction to Practical Dental Materials, 学建書院, 東京, 2011 年.

D. 学会発表

1. 国際学会

(3)一般演題

- 1) Hibino Y, Nagasawa Y, Omatsu J, Shimano I and Nakajima H : Flexural Strength of Experimental HEMA-free Resin-modified Glass Ionomer. International Dental Materials Congress 2011, Seoul, Korea, May, 2011
- 2) Kasuga Y, Takahashi H, Inoue M, Hoshino Y, Minakuchi S and Nakajima H : Evaluation on Physical Properties of Experimental Fluorinated, Acrylic-based, and Silicone Rubber-based Soft Lining Materials. International Dental Materials Congress 2011, Seoul, Korea, May, 2011
- 3) Kasuga Y, Hoshino Y, Inoue M, Ibaraki H, Nagasawa Y, Hibino Y, Takahashi H, Sumi Y, Minakuchi S and Nakajima H : Long-term viscoelastic properties of soft lining material containing fluorinated monomer. 41st Annual Meeting & Exhibition of American Association of Dental Research. Tampa, U.S.A., March, 2012
- 4) Ibaraki H, Nagasawa Y, Hibino Y, Kasuga Y and Nakajima H : Characteristics of Experimental Resin-modified Glass Ionomer for Filling. 41st Annual Meeting & Exhibition of American Association of Dental Research. Tampa, U.S.A., March, 2012

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) 茨木秀文, 長沢悠子, 日比野 靖, 春日祐太, 中畠 裕 : 試作充填用レジン添加型ガラスアイオノマーセメントの崩壊率. 明海歯科医学会第 16 回学術大会, 坂戸, 2011 年 12 月

E. その他の研究会、講演など

- 1) 中畠 裕 : 「仮着・合着・接着 : 材料学からみた臨床」, 明海大学歯学部同窓会岡山県支部第 66 回春季学術研修会, 岡山, 2011 年 4 月.
- 2) 中畠 裕 : チェアサイドの材料学-最近の材料を考える-ジルコニアセラミックスと仮着用セメント, 明海大学歯学部同窓会広島県支部主催第 30 回中国ブロック大会学術講演会, 広島, 2011 年 10 月.

歯科補綴学分野 I

A. 著書・訳本

2. 訳本

- 1) 藤澤政紀, 岡本和彦, 岩田健男 : Multidisciplinary approach to a nonsyndromic oligodontia patient using advanced surgical techniques. Int J Periodontics Restorative Dent 19(4):84-92. 2011.8

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 頼近 繁, 奥津史子, 草野寿之, 松川高明, 豊田有美子, 根来理沙, 眞木信太郎, 濱坂弘毅, 内田寿乃, 篠原勇輝, 奥村泰彦, 大川周治 : 運動エネルギーを指標とした新しい咀嚼機能評価について - 下顎運動体の重量測定法 - 明海歯学 40 巻 2 号 194-198 2011.9

3. 症例報告

- 1) Sone M, Toyota Y, Negoro R, Yorichika S, Okamoto K and Ohkawa S : A Case Report of the Removable Partial Denture with the Magnetic Attachment Applied to the Pontic of Anterior Bridge 明海歯学 41 巻 1 号 61-65 2012.2

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Toyota Y, Kurihara M, Shimokawara S, Sone M, Negoro R, Yorichika S, Hamasaka H, Maki S and Ohkawa S : A screening test for gustatory function in 4 basic tastes 14th meeting of the International College of Prosthodontists. Hawaii 2011.9
- 2) Sone M, Toyota Y, Negoro R, Yorichika S, Hamasaka H, Maki S and Ohkawa S. : An Application of a Magnetic Attachment to a Cast Clasp -Clinical Application of a Magnetic Rest Clasp- 14th meeting of the International College of Prosthodontists. Hawaii 2011.9
- 3) Negoro R, Sone M, Okutsu F, Kusano T, Matsukawa T, Toyota Y, Yorichika S, Okamoto K and Ohkawa S : A Case Report of a Removable Denture Using Magnetic Attachments for Mandibular Molar Missing with a decreased occlusal vertical dimension International conference on magnetic application in dentistry. The 11th International conference. 2012.3
- 4) Hsu YT, Okamoto K : Impression techniques for a mandibular denture retained by 2

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 濱坂弘毅, 曾根峰世, 栗原美詠, 下川原 忍, 豊田有美子, 根来理沙, 頼近 繁, 眞木信太郎, 西脇信文, 戸辺武一, 大川周治: 試作クラスプコーティングレジンに関する研究 - エーテル系ウレタン素材の接着強さ - 平成 23 年度 (社) 日本補綴歯科学会第 120 回学術大会 (広島) 2011.5
- 2) 栗原美詠: 味覚機能に関するスクリーニング検査法の構築 明海歯科医学会第 14 回学術大会 (坂戸) 2011.6
- 3) 奥津史子, 栗原美詠, 曾根峰世, 下川原 忍, 松川高明, 草野寿之, 豊田有美子, 根来理紗, 頼近 繁, 濱坂弘毅, 眞木信太郎, 内田寿乃, 遠藤 舞, 池下久登, 大川周治: 篩分法に画像解析を応用した新しい咀嚼機能検査システム - 咀嚼試料撮影装置の開発 - 平成 23 年度 (社) 日本補綴歯科学会東北・北海道支部、関越支部、東関東支部合同大会 (新潟) 2011.9
- 4) 廣川琢哉, 遠藤 聡, 渡邊 明, 猪野照夫, 岡本和彦, 岩瀬直樹, 野露浩正, 藤澤政紀: 天然歯における色彩学的研究 - 上顎左右中切歯における比較 - 平成 23 年度 (社) 日本補綴歯科学会東北・北海道支部、関越支部、東関東支部合同大会 (新潟) 2011.9
- 5) 松川高明, 草野寿之, 奥津史子, 豊田有美子, 根来理紗, 頼近 繁, 濱坂弘毅, 眞木信太郎, 遠藤 舞, 大川周治: 垂直顎間距離決定の基準下顎位に関する研究 - 口蓋床の厚さが [n] 持続発音時の下顎位に及ぼす影響 - 日本顎口腔機能学会第 47 回学術大会 (神戸) 2011.10
- 6) 竹下 玲, 末續真弓, 広瀬公治, 高野安紀子, 岡本和彦, 福浦えり子, 上田知恵, 下島孝裕, 藤澤政紀, 荒木久生, 安井利一: 単球前駆細胞様 M1 細胞のアポトーシスに関する *Porphyromonas gingivalis* 線毛の阻害作用における beta2-integrin・CD11/CD18 の重要性の解析 第 60 回日本口腔衛生学会・総会 (松戸) 2011.10
- 7) 根来理沙, 曾根峰世, 奥津史子, 草野寿之, 松川高明, 豊田有美子, 頼近 繁, 蓮池敏明, 岡本和彦, 大川周治: 低位咬合を伴う下顎臼歯部欠損に磁性アタッチメントを応用した 1 症例 第 21 回日本磁気歯科学会学術大会 (東京) 2011.11

E. その他の研究会、講演等

- 1) 大川周治: 咬合支持喪失症例における咬合採得の要点 - 「ん」持続発音位の応用 - 平成 24 年明海大学歯学部東京都同窓会 新年学術講演会 2012.1
- 2) 大川周治: 咀嚼機能検査の保険導入へ向けて
- 先進医療承認の意義 - 平成 23 年度三大学 (明海大学、朝日大学、大阪歯科大学) 合

同学術講演会 2012.2

- 3) 岡本和彦：咬合採得およびチェックバイトの実際 埼玉県大里郡市歯科医師会 学術講演会 2012.2

F. 研究助成金の受入

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 岡本和彦, 竹下 玲, 高野安紀子, 藤澤政紀, 安井利一：歯根膜細胞が産生する単球走化性因子 MCP-1 の歯科補綴学における臨床的意義 文部省科学研究費補助金基盤研究 (C) 報告書 2011.4
- 2) 竹下 玲, 安井利一, 岡本和彦, 高野安紀子：歯周病原性細菌の細胞内侵入に及ぼす口腔内連鎖球菌の影響 文部省科学研究費補助金基盤研究 (C) 報告書 2011.4

歯科補綴学分野Ⅱ

A. 著書・訳本

2. 訳本

- 1) 藤澤政紀、岩瀬直樹、岩田健男：新しい抜歯窩頬側壁保存法の効果に対する評価：予備的研究 Int J Periodontics Restorative Dent 19(2):59-63 2011.4
- 2) 藤澤政紀、猪野照夫、岩田健男：バイオリジックレストレーション：患者治療計画におけるコンポジットインレーの効果 Int J Periodontics Restorative Dent 19(3):17-23 2011.6
- 3) 藤澤政紀、岡本和彦、岩田健男：高度な外科手術手技を応用した，無症候性部分無菌症に対するマルチディシプリナリーアプローチ Int J Periodontics Restorative Dent 19(4):85-91 2011.8
- 4) 藤澤政紀、岩瀬直樹、岩田健男：インプラント支持単独歯修復における即時埋入と即時暫間修復：後ろ向き研究 Int J Periodontics Restorative Dent 19(5):79-85 2011.10
- 5) 藤澤政紀、遠藤 聡、岩田健男：革新的なプロポーシヨンゲージを用いることによる審美的歯冠長延長の生物学的論拠 Int J Periodontics Restorative Dent 19(6):67-74 2011.12
- 6) 藤澤政紀，野露浩正、岩田健男：ルートアナログジルコニアインプラント：大白歯の欠損修復に対する真の解剖形態－症例報告 Int J Periodontics Restorative Dent 20(1):79-83 2012.2

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Akira Watanabe, Kiyotaka Kanemura, Norimasa Tanabe, Masanori Fujisawa: Effect of electromyogram biofeedback on daytime clenching behavior in subjects with masticatory muscle pain Journal of Prosthodontic Research 55 (2011) 75-81 2011.4
- 2) 野露浩正，猪野照夫，岡本和彦，岩瀬直樹，佐藤雅介，飯塚知明，熊瀬名保子，藤澤政紀：荷重下における歯根表面の多点ひずみ解析明海歯学 40 (2), 162-172, 2011.6
- 3) 今村博高，金村清孝，田邊憲昌，武部 純，藤澤政紀，石橋寛二：歯学部学生におけるブラキシズムの自覚と顎機能障害の関係 日補綴会誌 3，

353-359, 2011.10

- 4) Akira Watanabe, Masanori Fujisawa, Tomoaki Iizuka, Masayuki Sato, Naoki Iwase, Kiyotaka Kanemura, Norimasa Tanabe, Kanji Ishibashi : Determination of Applicable Multiple Thresholds of EMG Biofeedback Training for Daytime Clenching Behavior J Meikai Dent Med 41 (1), 1-5, 2012.2

D. 学会発表

1. 国際学会

(3)一般演題

- 1) Fujisawa M, Watanabe A, Iizuka T, Sato M, Kanemura K, Tanabe N, Ishibashi K : Determination of EMG Biofeedback Training Thresholds in Subjects with Clenching Behavior , 14th Biennial Meeting of International College of Prosthodontics ハワイ 2011.9
- 2) Sato M, Iizuka T, Fujisawa M : Effect Of EMG Biofeedback For Daytime Clenching On Sleep Bruxism 14th Biennial Meeting of International College of Prosthodontics ハワイ 2011.9
- 3) Iizuka,T. Sato,M. Fujisawa,M. : Comparison of the relationship between daytime clenching and sleep bruxism between subjects who were aware and unaware of their clenching behavior 14th Biennial Meeting of International College of Prosthodontics ハワイ 2011.9

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) 渡邊 明, 飯塚知明, 佐藤雅介, 岩瀬直樹, 猪野照夫, 岡本和彦, 藤澤政紀, : クレンチング習癖者におけるバイオフィードバック訓練閾値設定に関する検討 社団法人日本補綴歯科学会第 120 回記念大会 広島県広島市 2011.5
- 2) 猪野照夫, 遠藤 聡, 野露浩正, 藤澤政紀 : 三次元有限要素法解析による上顎顎欠損患者における咬合床の安定性の検討 - フラビーガムの影響 - 第 28 回日本顎顔面補綴学会富山 2011.6
- 3) 渡邊明, 藤澤政紀, 岩瀬直樹, 岡本和彦, 飯塚知明, 佐藤雅介, 島野偉礎轄, 金村清孝, 田邊憲昌, 遠藤寛, 石橋寛二 : 疼痛レベルと咀嚼筋筋電図バイオフィードバック訓練効果の関連性 第 26 回日本歯科心身医学会 札幌 2011.7

- 4) 佐藤雅介、飯塚知明、川邊崇史、川田祐、廣川琢哉、日高達哉、藤田崇史、吉田有里、藤澤政紀：日中のクレンジングに対するバイオフィードバック訓練が夜間のブラキシズムに及ぼす抑制効果について 日本補綴歯科学会東北・北海道支部、関越支部、東関東支部総会ならびに合同学術大会 新潟 2011.9
- 5) 廣川琢哉、遠藤 聡、渡邊 明、猪野照夫、岡本和彦、岩瀬直樹、野露浩正、藤澤政紀：天然歯における色彩学的研究－上顎左右中切歯における比較－ 平成23年度(社)日本補綴歯科学会 東北・北海道支部、関越支部、東関東支部総会ならびに合同学術大会 新潟 2011.9
- 6) 大津良輔、山田優貴、田邊憲昌、金村清孝、今村博高、浅野明子、松田 葉、沖野憲司、藤澤政紀、武部 純、石橋寛二：顎機能障害発症に関する10年間の前向きコホート研究 平成23年度(社)日本補綴歯科学会 東北・北海道支部、関越支部、東関東支部総会ならびに合同学術大会 2011.9
- 7) 竹下 玲、末續真弓、広瀬公治、高野安紀子、岡本和彦、福浦えり子、上田知恵、下島孝裕、藤澤政紀、荒木久生、安井利一：単球前駆細胞様M1細胞のアポトーシスに関する *Porphyromonas gingivalis* 線毛の阻害作用における beta2-integrin・CD11/CD18 の重要性の解析 第60回日本口腔衛生学会・総会 松戸 2011.10
- 8) 遠藤聡、藤澤政紀：天然歯における色彩学的研究－上顎左右中切歯における比較－ 第22回歯科審美学会学術大会 奈良 2011.10

E. その他の研究会、講演等

- 1) 藤澤政紀：こんな補綴治療はいかが？ -可逆的処置法のススメ- 明海大学歯学部同窓会埼玉県支部学術講演会 埼玉 2011.5
- 2) 飯塚知明：日中のクレンジングと夜間睡眠時ブラキシズムの関係 明海歯科医学会 第14回学術大会 2011.6
- 3) 佐藤雅介：日中のクレンジングに対するバイオフィードバック訓練が夜間のブラキシズムに及ぼす抑制効果について 明海歯科医学会第14回学術大会 2011.6
- 4) 渡邊明：日中のクレンジング発生状況と夜間のブラキシズム発生状況の関連性に関する検討 第14回明海歯科医学会学術大会 2011.6
- 5) 藤澤政紀、遠藤 聡、片山 直、小澤 有美、申 基喆：審美歯科関係外来紹介 明海大学病院歯科審美 24(1), 29, 2011.9

- 6) 猪野照夫, 岩瀬直樹, 遠藤聡, 渡邊明, 野露浩正, 藤澤政紀: 中顔面の広範囲に欠損を生じた1症例における補綴処置 平成23年度埼玉県歯科医学大会 浦和 2012.2
- 7) 藤澤政紀: 可逆性に配慮した補綴治療日本口腔インプラント学会 第31回 関東・甲信越支部学術大会 東京 2012.2

F. 研究助成金等の受入

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 藤澤政紀(研究代表者): 日中の筋電図バイオフィードバックが夜間ブラキシズム抑制に及ぼす効果の多施設検証 学術振興会科学研究費補助金報告書 基盤研究(B) 2011.4
- 2) 岡本和彦(研究代表者), 藤澤政紀(分担者): 歯根膜細胞が産生する単球走化性因子 MCP-1 の歯科補綴学における臨床的意義 学術振興会科学研究費補助金報告書 基盤研究(C) 2011.4

3. 宮田研究奨励金(A)

- 1) 野露浩正: 荷重下における歯根表面の多点同時ひずみ解析 宮田研究奨励金(A) 報告書 2011.4

保存修復学分野

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 千田彰、寺下正道、田上順次、奈良陽一郎、宮崎真至、片山直：保存修復クリニカルガイド第2版, 医歯薬出版, 東京, pp120-121, 161, 2012. 1

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Iwasaka K, Hemmi E, Tomita K, Ishihara S, Katayama T and Sakagami H: Effect of CO₂ laser irradiation on hormesis induction in human pulp and periodontal ligament fibroblasts. In Vivo, 25, 787-93, 2011. 10

C. その他の刊行物等

- 1) 市村葉：東洋医学基本としくみ, 西東社, 2011. 4
- 2) 片山直：サッカー選手の歯牙管理, JFA news12月号, 2011. 12

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Ozawa Y, Katayama T and Hemmi E: Color assessment of light-cured composite resins on different color charts —Conditions for recreating the color of natural teeth, the Society for Color and Appearance in Dentistry—Chicago 2011, Chicago, USA, 2011. 9
- 2) Katayama T, Hemmi E and Ozawa Y: Colorimetric evaluation of flowable resin composite, The Society for Color and Appearance in Dentistry —Chicago 2011, Chicago, USA, 2011. 9
- 3) Ichimura Y, Katayama I and Katayama T: The Relationship Between Hegu (L14) and Yingxiang (L12), 5th International Medical Acupuncture Congress, Barcelona, Spain, 2011. 11

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 岩坂 憲助：炭酸ガスレーザーを用いた組織再生療法の開発に関する基礎研究, 明海歯科医学会第14回学術大会, 2011. 6
- 2) 片山直, 小澤有美, 逸見恵里, 市村葉: 有彩色がコンポジットレジンの色調に与える影響について, 日本歯科色彩学会総会・学術大会, 東京, 2011. 7

E. その他の研究会、講演等

- 1) 市村 葉、久保茂正、関根陽平：歯科におけるハリ療法とツボ刺激（実技含む），日本歯科東洋医学会，学術研修会，神奈川，2011. 9
- 2) 片山直：歯の破折・亀裂外傷歯学会認定医更新コース講師，2012. 1
- 3) 片山直：長寿社会と歯の健康第，第7回 草加市 市民公開講座，2012. 3

F. 研究助成金の受入

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 片山直：自己由来増殖因子による歯髄幹細胞の増殖及び分化誘導活性の解析とその科学研究費補助金，基盤研究（C）報告書，2011. 5

歯内療法学分野

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 小林健二, 中村裕子, 小谷依子, 高橋哲哉, 小此木雄, 牛込瑛子, 橋島弓子: 歯内療法学実習書リュウワ印刷, 埼玉, 2011. 11

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 高橋哲哉, 小林健二, 牛込瑛子, 小谷依子, 申 基喆: 薬剤を用いた NiTi ファイル破折片除去に関する研究 -2 種類の薬剤が異なる表面性状を有する市販 NiTi ファイルの腐食に及ぼす影響-明海歯科医学, 40(2), 155-161, 2011. 9
- 2) 中村裕子, 橋本 研, 小此木 雄, 牛込瑛子, 橋島弓子, 高橋哲哉, 小林健二, 小谷依子, 坂上 宏, 鈴木玲爾, 申 基喆: 次亜塩素酸電解水の細胞傷害性およびアルカリホスファターゼ活性に及ぼす影響日本歯科保存学雑誌 54 (5) , 331-340, 2011. 10

C. その他の刊行物等

- 1) Yuko Nakamura, Yoriko Kotani, Yu Okonogi, Yumiko Hashijima, Kitetsu Shin : Antibacterial effects of neutral electrolyzed functional water on Enterococcus faecalis-derived biofilmInternational Endodontic Journal 44(12), 1187, 2011.12
- 2) Tetsuya Takahashi, Kenji Kobayashi, Eiko Ushigome, Takashi Kure, Kitetsu Shin : Basic studies on removal of broken NiTi endodontic filesInternational Endodontic Journal 44(12), 1213, 2011.12

D. 学会発表

1. 国際学会

(3)一般演題

- 1) Yuko Nakamura, Yoriko Kotani, Yu Okonogi, Yumiko Hashijima, Kitetsu Shin : Antibacterial effects of neutral electrolyzed functional water on Enterococcus faecalis-derived biofilm15th BIENNIAL CONGRES of the EUROPEAN SOCIETY of ENDODONTOLOGY. Rome. Italy, 2011. 9
- 2) Tetsuya Takahashi, Kenji Kobayashi, Eiko Ushigome, Takashi Kure, Kitetsu Shin : Basic studies on removal of broken NiTi endodontic files15th BIENNIAL CONGRES of

the EUROPEAN SOCIETY of ENDODONTOLOGY. Rome. Italy, 2011. 9

- 3) Jimenez-Bueno Ignacio, Garcia-Conyreras R, Hiroshi Sakagami, Kenji Kobayashi, Yukio Nakamura, Hiroshi Nakajima : Impacto citotoxico de cuatro cementos endodonticos en seis lineas celulares FDI Annual World Dental Congress. Mexico City, Mexico, 2011. 9

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 牛込瑛子 : 薬液を応用した NiTi ファイル破折片の除去に関する研究 - 薬液温度の影響について - 明海歯科医学会第 14 回学術大会 埼玉, 2011. 6
- 2) 小林健二, 中村裕子, 小谷依子, 高橋哲哉, 牛込瑛子, 橋島弓子, 申 基喆 : 亜脱臼した上顎前歯にみられた Transient Apical Breakdown の症例 日本歯科保存学会 2011 年春季学術大会 (第 134 回) 千葉, 2011. 6
- 3) 小此木雄, 中村裕子, 小林健二, 小谷依子, 高橋哲哉, 牛込瑛子, 橋島弓子, 申 基喆 : 4-META/MMA-TBB レジンの象牙質接着に及ぼす次亜塩素酸電解水の影響 日本歯科保存学会 2011 年秋季学術大会 (第 135 回) 大阪, 2011. 10

E. その他の研究会、講演等

- 1) 小林健二 : MI から考える歯内療法 埼玉県比企郡市歯科医師会 平成 23 年度第 2 回学術講演会, 東松山, 2011. 11

F. 研究助成金等の受入

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 小谷依子 : 根管形成用レーザーマニピュレーターの開発 科学研究費補助金, 若手研究 (B), 2011. 4
- 2) 高橋哲哉 : 根管破折したニッケルチタンファイルを腐食させることで除去を容易にする方法の確立 科学研究費補助金, 若手研究 (B), 2011. 4

オーラル・リハビリテーション学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 川邊好弘：フレアーアウトによる空隙歯列　ーラウンドワイヤーによるレベリングとパワーチェーンによる空隙歯界展望別冊，はじめてのMTM，131, 2011. 7
- 2) 荒木久生(柳瀬武史，村上 弘，江黒 徹，竹島明道，野村智義，溝口 尚編著)：ジーシーインプラント Re セティオストレート，ジーシーインプラント Re セティオテーパー，ジーシーインプラント Re ジェネシオストレート，ジーシーインプラント Re ジェネシオテーパー In:このインプラントなに?医歯薬出版，70-77, 2011. 9
- 3) 荒木久生(富士谷盛興，千田彰編著)：F バニッシュ歯科用 5% In:象牙質知覚過敏症 目からウロコのパーフェクト治療ガイド医歯薬出版，27, 2011. 9
- 4) 谷本博則，川邊好弘：PDI 埼玉歯科診療所の臨床研修で学んだこと日本歯科評論，第 71 巻第 12 号，126-131, 2011. 12

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 川邊好弘，溝部健一，雨森洋貴，鈴木玲爾，荒木久生：咬頭嵌合位での早期接触が顎口腔系筋の異常に及ぼす影響日本口腔診断学会雑誌，第 24 巻第 2 号，226-230, 2011. 6
- 2) 鈴木玲爾，辰巳順一，松本篤樹，溝部健一，川邊好弘，小川洋一，遠藤学，申基喆，荒木久生：明海大学歯学部附属明海大学病院 PDI 診療センターにおける 7 年間の骨結合型インプラント治療の実態調査明海歯学誌(J Meikai Dent Med). 40(2)，103-111, 2011. 9
- 3) 三上晃一郎，大塚秀春，難波智美，寺西麻里奈，児島暁，成田宗隆，大西英知，谷田部一大，鈴木玲爾，林丈一郎，辰巳順一，申基喆：歯周病患者ショートインプラントの臨床的評価明海歯学誌(J Meikai Dent Med). 40(2)，180-188, 2011. 9
- 4) 成田宗隆，辰巳順一，難波智美，西村将吾，呂宗彦，寺西麻里奈，鈴木玲爾，大西英知，谷田部一大，申基喆：イヌ実験的インプラント周囲炎に対する各種除染方法の有効性に関する研究明海歯学誌(J Meikai Dent Med). 40(2)，112-125, 2011. 9
- 5) 中村裕子，橋本研，小此木雄，牛込瑛子，橋島弓子，高橋哲哉，小林健二，小谷依子，鈴木玲爾，坂上宏，申基喆：次亜塩素酸電解水の細胞傷害性およびアルカリフォスファターゼ活性に及ぼす影響日歯保存誌 54 (5)：331-340, 2011, 2011. 10

- 6) 鈴木玲爾, 辰巳順一, 松本篤樹, 溝部健一, 小野 裕貴, 林 剛兵, 申基喆, 荒木久生: ヒーリングアバットメントを用いたインプラント除染方法の基礎的検討明海歯学誌(J Meikai Dent Med). 41(1), 34-43, 2012. 2

2. 総説

- 1) 荒木久生: 上下顎左右臼歯部の疼痛デンタルダイヤモンド, 第 36 巻第 9 号, 117-118, 2011. 7
- 2) 荒木久生: 明海大学 PDI 埼玉歯科診療所における歯科医師臨床研修プログラム—いま注目される、基本に忠実な臨床教育の実践日本歯科評論, 第 71 巻第 12 号, 123-125, 2011. 12

3. 症例報告

- 1) 北風新平, 溝部健一, 川邊好弘, 雨森洋貴, 生方真人, 鈴木玲爾, 荒木久生: インプラント周囲の硬組織および軟組織の形態を考慮した一症例明海歯学誌(J Meikai Dent Med). 41(1), 54-60, 2012. 2

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 竹下 玲, 末續真弓, 広瀬公治, 高野安紀子, 岡本和彦, 福浦えり子, 上田知恵, 下島孝裕, 藤沢政紀, 荒木久生, 安井利一: 単球前駆細胞様 M1 細胞のアポトーシスに関する Porphyromonas gingivalis 線毛の阻害作用における beta2-integrin・CD11/CD18 の重要性の解析第 60 回日本口腔衛生学会・総会 (松戸市), 2011. 10
- 2) 谷本博則, 萩元 剛, 荒木久生: 上下顎両側性遊離端欠損症例に対する咬合再構成～咬合の長期安定化を求めて～第 29 回日本顎咬合学会学術大会(千代田区), 2011. 6
- 3) 田辺達彦, 荒木久生, 鈴木玲爾, 松本篤樹: 歯間乳頭保存を考慮した抜歯即時埋入の一症例第 29 回日本顎咬合学会学術大会(千代田区), 2011. 6
- 4) 伊藤巳代治, 鈴木玲爾, 松本篤樹, 荒木久生: 挺出歯に対し臨床的歯冠長延長術を行い, 咬合平面の修正と補綴スペースを確保した一症例第 29 回日本顎咬合学会学術大会(千代田区), 2011. 6
- 5) 沼倉 峻, 牧野賢嗣, 荒木久生: 歯周形成外科を用いてインプラント周囲の歯肉形態を審美的に改善した一症例第 29 回日本顎咬合学会学術大会(千代田区), 2011. 6
- 6) 松本篤樹, 鈴木玲爾, 荒木久生: 総義歯作製に苦慮した一症例第 29 回日本顎咬合学会学術大会(千代田区), 2011. 6

- 7) 足立和嘉子, 松本篤樹, 鈴木玲爾, 荒木久生: インプラント術前処置として MGS を行い口腔環境の向上を図った症例第 29 回日本顎咬合学会学術大会(千代田区), 2011. 6
- 8) 田村賜章, 平野久美, 竹島浩, 鈴木玲爾, 嶋田淳: 卒業前における口腔インプラント学実習に関するアンケート調査第 41 回日本口腔インプラント学会学術大会(名古屋市) , 2011. 9

基礎物理学分野

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 山田英彦, 石原真理子, 稲葉明美 : 2011 年度総合理科実験リュウワ印刷, 埼玉, pp1-57
2011. 9

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 田島義文, 石井廣明, 山田英彦 : 検死現場における携帯型歯科用 X 線撮影装置の有用性
日本法歯科医学会第 5 回学術大会, 東京 2011. 10

病態診断治療学講座

病 理 学 分 野

薬 理 学 分 野

総合口腔診断学分野

歯科放射線学分野

口腔顎顔面外科学分野 1

口腔顎顔面外科学分野 2

病理学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) González-Alva P, Inoue H, Miyazaki Y, Tsuchiya H, Noguchi Y, Kikuchi K, Ide F, Ishihara S, Katayama T, Sakashita H and Kusama K: Podoplanin expression in odontomas: clinicopathological study and immunohistochemical analysis of 86 cases. *J Oral Sci* 53(1): 67-75, 2011
- 2) 井上勝元, 大山嘉人, 川本幸寛, 滝澤将太, 奥 結香, 岡本英里, 福田正勝, 重松久夫, 天野 修, 菊池建太郎, 草間 薫, 鈴木正二, 坂下英明: 当科において過去40年間で診断した口腔顎顔面領域の悪性腫瘍541例の臨床病理学的検討. *明海歯科医学* 40(2): 173-179, 2011
- 3) Inoue H, Miyazaki Y, Kikuchi K, Fujinami H, Yoshida N, Ide F, Sakashita H and Kusama K: Intravascular papillary endothelial hyperplasia of the oral cavity. *J Oral Sci* 53(4): 475-480, 2011
- 4) 岡本英里, 重松久夫, 奥 結香, 菊池建太郎, 草間 薫, 坂下英明: 角化嚢胞性歯原性腫瘍の再発に関する病理組織学および免疫組織化学的検討. *小児口腔外科* 21(1): 51-63, 2011
- 5) Inoue H, Miyazaki Y, Kikuchi K, Yoshida N, Ide F, Ohmori Y, Tomomura A, Sakashita H and Kusama K: Podoplanin expression in dysplasia-carcinoma sequence of the oral cavity. *Tumor Biol* 33(1): 183-194, 2012
- 6) Imai K, Inoue H, Tamura M, Cueno ME, Inoue H, Takeichi O, Kusama K, Saito I and Ochiai K: The periodontal pathogen *Porphyromonas gingivalis* induces the Epstein-Barr virus lytic switch transactivator ZEBRA by histone modification. *Biochimie* 94(3): 839-846, 2012
- 7) Miyazaki Y, Inoue H, Kikuchi K, Ochiai K and Kusama K: Activation-induced cytidine deaminase mRNA expression in oral squamous cell carcinoma-derived cell lines is upregulated by inflammatory cytokines. *J Oral Sci* 54(1): 71-75, 2012
- 8) 宮崎裕司, 井上ハルミ, 菊池建太郎, 吉田憲明, 土屋穂積, 山内雅司, 落合邦康, 草間 薫: 口腔内細菌によるHPVの活性化および癌進展への関与. *消化器と免疫* 48: 93-96, 2012

2. 総説

- 1) Miyazaki Y, Inoue H, Gonzalez-Alva P, Kikuchi K, Fujinami M, Tsuchiya H, Noguchi Y, Yoshida N, Ide F and Kusama K: Significance of podoplanin expression in normal and pathological conditions of the oral and maxillofacial regions. *Oral Medicine & Pathology* 16: 1-6, 2011

3. 症例報告

- 1) Ide F, Kikuchi K and Kusama K: Sclerosing odontogenic carcinoma. *Pathol Int* 61(4): 259-261, 2011
- 2) Ide F, Kikuchi K and Kusama K: Microcystic adnexal (sclerosing sweat duct) carcinoma of intraoral salivary gland origin: an extracutaneous adnexal neoplasm? *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod* 112(3): 284-286, 2011
- 3) Odaka K, Shigematsu H, Oku Y, Yagishita H, Sugawara Y, Kikuchi K, Kusama K and Sakashita H: Oral lymphoepithelial cyst—a case report and review of previous Japanese cases— *Hosp Dent* 23(2): 109-113, 2011
- 4) Oku Y, Shigematsu H, Hoshino M, Suzuki S, Kiyokawa T, Kikuchi K, Kusama K and Sakashita H: A case report on lingual osseous choristoma in a child. *小児口腔外科* 21(2): 159-162, 2011
- 5) 須賀則幸, 重松久夫, 菊池建太郎, 鈴木正二, 草間 薫, 坂下英明: 上顎洞に進展した chronic expanding hematoma の1例. *日本口腔外科学会誌* 58(3), 132-136, 2012

C. その他の刊行物等

- 1) 草間 薫: 口腔がん早期発見は先生方が最前線です. 第2回 口腔がんの病理——歯科医師が知っておくべき口腔がんの知識—— 埼玉歯だより 2011年秋 No.544, 32-34, 2011.9
- 2) 報告書健康保険組合連合会医療部審査対策グループ(和田 勝、渡辺 隆、新原英嗣、草間 薫、八重垣 健): 「歯科レセプト」を中心とした審査及び点検等業務に関する調査研究. 報告書平成22年度医療保障総合政策調査・研究基金事業、健康保険組合連合会 2011.7

D. 学会発表

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 草間 薫: 癌の特性——口腔顎顔面領域の癌による疼痛を含めて——「口腔顎顔面領域における癌と痛み——癌性疼痛研究発症のメカニズムを探る. 第53回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会、岐阜、2011年10月

(3) 一般演題

- 1) 菊池建太郎、井上ハルミ、宮崎裕司、井出文雄、草間 薫: Papillary hemangioma-like lesion of the lip. 第100回日本病理学会総会、神奈川、2011年4月
- 2) 菊池建太郎: 前癌病変および口腔扁平上皮癌における進展と微小環境に関する臨床病理学的検討. 明海歯科医学会第14回学術大会、埼玉、2011年6月

- 3) 宮崎裕司、菊池建太郎、井上ハルミ、林 暁、山内雅司、落合邦康、草間 薫:口腔内細菌による HPV の活性化および癌進展への関与. 第 48 回日本消化器免疫学会、石川 2011 年 7 月
- 4) 井上ハルミ、宮崎裕司、菊池建太郎、井出文雄、草間 薫:口腔前癌病変および口腔癌における podoplanin 発現の意義. 第 22 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会、第 5 回アジア口腔病理学会、福岡、2011 年 8 月
- 5) 菊池建太郎、井上ハルミ、宮崎裕司、井出文雄、坂下英明、草間 薫:成人女性に生じた口腔原発非流行地型 Burkitt's lymphoma の 1 例. 第 22 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会、第 5 回アジア口腔病理学会、福岡 2011 年 8 月
- 6) 加藤崇雄、堀江憲夫、松田友彦、岩本祥子、金子忠良、下山哲夫、佐藤和恵、草間 薫、坂上 宏:漢方薬、漢方成分及びグリチルリチンの紫外線に対する細胞保護作用. 第 53 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会、岐阜、2011 年 10 月
- 7) 宮崎裕司、井上ハルミ、菊池建太郎、落合邦康、草間 薫:口腔扁平上皮癌進展に及ぼす酪酸の影響. 第 53 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会、岐阜、2011 年 10 月
- 8) 田村暢章、森 一将、菊池建太郎、田村 希、小貫裕之、竹島 浩、草間 薫、嶋田淳:上顎洞内に進展した角化嚢胞性歯原性腫瘍の 1 例. 第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会、大阪、2011 年 10 月
- 9) 奥 結香、重松久夫、星野 都、鈴木正二、清河年彦、菊池建太郎、草間 薫、坂下英明:小児の舌根部に生じた骨性分離腫の 1 例. 第 23 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会、青森、2011 年 11 月
- 10) 菊池建太郎、井上ハルミ、宮崎裕司、井出文雄、坂下英明、草間 薫:リウマチ性関節炎患者の口腔内に生じた MTX 関連リンパ増殖性疾患の 1 例. 第 54 回日本病理学会関東支部学術集会、東京、2012 年 3 月
- 11) 堀 智一、鈴木正二、星野 都、本河生実、井上勝元、菊池建太郎、草間 薫、坂下英明:ビスホスホネート製剤によると考えられた上顎骨壊死の 1 例. 第 21 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会、栃木、2012 年 3 月

E. その他の研究会、講演等

- 1) 草間 薫:がん、口腔がんに関する話、デンタルセミナー、東京、2012 年 1 月
- 2) 草間 薫:口腔粘膜疾患(口腔癌を含む)とインプラント周囲炎 2. 口腔癌の発生・進展について. 第 4 回明海大学歯学部附属明海大学病院 病診連携講演会、埼玉、2012 年 2 月

- 3) 草間 薫:講演(2)歯科医師が知っておくべき「口腔がん」の知識. 口腔がん検診実習付きベーシック講習会(彩の国すこやかプラザセミナーホール)、埼玉、2012年3月

薬理学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) Koshikawa N, Fujita S and Adachi K : BEHAVIORAL PHARMACOLOGY OF OROFACIAL MOVEMENT DISORDERS. In: INTERNATIONAL REVIEW OF NEUROBIOLOGY, Masayuki Kobayashi, Noriaki Koshikawa, Koichi Iwata and John L. Waddington Edited. Academic Press, pp1-38 2011.7
- 2) Sakagami H and Watanabe S : Beneficial effects of mulberry on human health. Phytochemicals and Human Health: Pharmacological and Molecular Aspects - A Tribute to Late Professor Bimal Kumar Bachhawat'Chapter 10. pp257-273, 2011.9
- 3) Lopez BSG, Yamamoto M and Sakagami H : Chapter 9. Treatment of herpes simplex virus with lignin-carbohydrate complex tablet, an alternative therapeutic formula. In: Antiviral Drugs Aspects of Clinical Use and Recent Advances, edited by Patrick Arbuthnot, ISBN 978-953-51-0256-4, pp171-194 InTech 2012.3
- 4) Sakagami H, Kushida T, Makino T, Hatano T, Shirataki Y, Matsuta T, Matsuo Y and Mimaki Y : Chapter 13. Functional analysis of natural polyphenols and saponins as alternative medicines Compendium of Essays on Alternative Therapy, edited by Arup Bhattacharya ISBN 978-953-307-863-2, pp269-302 InTech 2012.1
- 5) Huynh N, Lavigne GJ, Okura K, Yao D and Adachi K : Sleep bruxism. IN Handbook of clinical neurology, PJ Vinken and GW Bruyn Edited. Elsevier, pp901-911 2011.8
- 6) 坂上 宏, 浅野和仁 : 食品による生体酸化反応の予防. 昭和大学保健医療学雑誌, 第9号, 21-46 2012.3

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Matsuta T, Sakagami H, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Anti-UV activity of alkaline extracts of the leaves of *Sasa senanensis* Rehder. In Vivo 25 (5): 751-755 2011.9
- 2) Das U, Pati H, Sakagami H, Hashimoto K, Kawase M, Balzarini J, De Clercq E, Stables J and Dimmock: 3,5-bis(Benzylidene)-1-[3-(2-hydroxyethylthio)propanoyl]-piperidin-4-ones: A novel cluster of potent tumour-selective cytotoxins. J Med Chem 54: 3445-3449 2011.5
- 3) Maki J, Mashino H, Gunji Y, Sekiya H, Tamai E, Sakagami H and Araki J : A fundamental study on the so-called nine worms traditionally believed to inhabit the human body - new interpretation of them as the mixture of the renal and imaginary parasites. (note) 松山大学論集 23(2):189-200 2011.6
- 4) Maki J, Sekiya H, Tamai E, Kuwada M and Sakagami H : A preparatory investigation into the

- student practice needed for graduation on the obstinate parasitic infection of hygienic importance to international health. 松山大学論集第 23 卷第 6 号 227-242 2012.2
- 5) Nanbu T, Matsuta T, Sakagami H, Shimada J, Maki J and Makino T : Anti-UV activity of *Lentinus edodes* Mycelia extract (LEM). In Vivo 25 (5): 733-740 2011.9
 - 6) Matsuta T, Sakagami H, Satoh K, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Biological activity of luteolin glycosides and triclin from *Sasa senanensis* Rehder. In Vivo 25 (5): 757-762 2011.9
 - 7) Horvath G, Molnar P, Rado-Turcsi E, Deli J, Kawase M, Satoh K, Tanaka T, Tani S, Sakagami H, Gyemant N and Molnar J : Carotenoid composition and in vitro pharmacological activity of rose hips. Acta Biochimica Polonica 59, 129-132 2012.3
 - 8) Sakagami H, Iwamoto S, Matsuta T, Satoh K, Shimada C, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Morita Y, Ohkubo A, Tsuda T, Sunaga K, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Comparative study of biological activity of three commercial products of bamboo leaf extract. In Vivo 26: 259-264 2012.3
 - 9) Umemura N, Zhu J, Mburu YK, Forero A, Hsieh PN, Muthuswamy R, Kalinski P, Ferris RL and Sarkar SN : Defective NF- κ B Signaling in Metastatic Head and Neck Cancer Cells Leads to Enhanced Apoptosis by Double-Stranded RNA. Cancer Res. 2012 Jan 1;72(1):45-55. Epub 2011 Nov 4.2012.1
 - 10) Das S, Das U, Sakagami H, Umemura N, Iwamoto S, Matsuta T, Kawase M, Molnar J, Serly J, Gorecki DK and Dimmock JR : Dimeric 3,5-bis(benzylidene)-4-piperidones: A novel cluster of tumour-selective cytotoxins possessing multidrug-resistant properties. Eur J Med Chem. 54, 193-199 2012.2
 - 11) Adachi K, Kobayashi M, Kawasaki T, Yokoyama C, Waddington JL, Sakagami H, Onoe H And Koshikawa N : Disruption of programmed masticatory movements in unilateral MPTP-treated monkeys as a model of jaw movement abnormality in Parkinson's disease. Journal of Neural Transmission [Epub ahead], 1-9 2012.2
 - 12) Masuda Y, Ueda J, Tamura M, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y : Diverse biological activity of *Odontioda Marie* Noel 'Velano' extracts. In Vivo 25: 375-380 2011.5
 - 13) Masuda Y, Ueda J, Tamura M, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y : Diverse biological activity of *Odontoglossum Harvengtens* 'Tutu' bulb extracts. In Vivo 25: 381-386 2011.5
 - 14) GarcAa-Contreras R, Scougall-Vilchis RJ, Contreras-Bulnes R, Adachi K, Sakagami H, Hibino Y, Nakajima H and Shimada J : Efectos de la luz uV sobre placas de titanio para la adhesiA3n osteoblA!stica. Revista aDM. 68, 175-182 2011.10
 - 15) Iwasaka K, Hemmi E, Tomita K, Ishihara S, Katayama T and Sakagami H : Effect of CO₂ laser irradiation on hormesis induction in human pulp and periodontal ligament fibroblasts. In Vivo 25 (5): 787-793 2011.9

- 16) Kushida T, Makino T, Tomomura M, Tomomura A and Sakagami H : Enhancement of dectin-2 gene expression by lignin-carbohydrate complex from *Lentinus edodes* extract (LEM) in mouse macrophage-like cell line. *Anticancer Res* 31: 1241-1248 2011.4
- 17) Masuda Y, Suzuki R, Sakagami H, Umemura N, Ueda J and Shirataki Y : Induction of non-apoptotic cell death by *Odontioda Marie* Noel 'Velano' extracts in human oral squamous cell carcinoma cell line. *In Vivo* 26: 265-270 2012.3
- 18) Horii H, Suzuki R, Sakagami H, Umemura N, Ueda J and Shirataki Y : Induction of non-apoptotic cell death by *Rhinacanthus nasutus* extract in human oral squamous cell carcinoma cell line. *In Vivo* 26: 305-310 2012.3
- 19) García-Contreras, Kanagawa S, Beppu Y, Nagao T, Sakagami H, Nakajima H, Shimada J and Adachi K : Morphological features of osteoblasts cultured on ultraviolet-irradiated titanium plates. *In Vivo* 25 (4): 649-656 2011.7
- 20) Otsuki S, Sugiyama K, Amano O, Yasui T and Sakagami H : Negative regulation of NaF-induced apoptosis by Bad-CAII complex, *Toxicology*:287: 131-136 2011.9
- 21) Sugimoto M, Sakagami H, Yokote Y, Onuma H, Kaneko M, Mori M, Sakaguchi Y, Soga T and Tomita M : Non-targeted metabolite profiling in activated macrophage secretion. *Metabolomics*: DOI:10.1007/s11306-011-0353-9: 2011.8
- 22) Uesawa Y, Mohri K, Kawase M, Ishihara M and Sakagami H : Quantitative structure-activity relationship (QASR) analysis of tumor-specificity of 1,2,3,4-tetrahydroisoquinoline derivatives. *Anticancer Res* 31: 4231-4238 2011.11
- 23) Ono M, Kantoh K, Ueki J, Shimada A, Wakabayashi H, Matsuta T, Sakagami H, Kumada H, Hamada N, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Quest for anti-inflammatory substances using IL-1 β -stimulated gingival fibroblasts. *In Vivo* 25(5): 763-768 2011.9
- 24) Horii H, Ueda J, Tamura M, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y : Search for new biological activity of *Rhinacanthus nasutus* extracts. *In Vivo* 25: 367-374 2011.5
- 25) 中村裕子, 橋本 研, 小此木雄, 牛込瑛子, 橋島弓子, 高橋哲哉, 小林健二, 小谷依子, 坂上 宏, 鈴木玲爾, 申 基喆 : 次亜塩素酸電解水の細胞傷害性およびアルカリホスファターゼ活性に及ぼす影響. *日本歯科保存学雑誌* 54: 331-340 2011.10
- 26) 牧純, 増野仁, 郡司良夫, 秋山伸二, 菅野裕子, 関谷洋志, 難波弘行, 玉井栄治, 坂上 宏 : 日本におけるマラリアの史的考究—特に 11 世紀の日本と現代におけるマラリア感染の対処法と治療薬—松山大学論集第 23 巻第 6 号 243-256 2012.2
- 27) 牧 純, 難波弘行, 秋山伸二, 玉井栄治, 関谷浩志, Kim Hye-Sook, 廣瀬恭子, 坂上 宏, 柴田和彦, 八重徹司, 山口 巧, 相良英憲, 出石文男 : 薬学の新領域としての「旅行薬学」 「渡航薬学」の提唱, 海路で釜山 (韓国) を冬訪問する邦人観光客のケースを例として. *愛媛県病薬会誌* 109: 9-20 2011.11
- 28) 牧純, 玉井栄治, 関谷洋志, 廣瀬恭子, 秋山伸二, 難波弘行, 金惠淑, 坂上 宏 : 旅行医

学・旅行薬学の視点より論考する釜山（韓国）—心身の健康対策と旅による薬学的知見—
—松山大学論集第 23 巻第 6 号 257-281 2012.2

2. 総説

- 1) 坂上 宏：代替医療としてのリグニン配糖体の機能性—漢方における分子的会合の意義
日本歯科東洋医学会誌 30, 32-39, 2011.8
- 2) 坂上 宏, 石原真理子, 斎藤潤, 東風幹子, 東風睦之：イチジクの揮発性画分より単離されたベンズアルデヒド—その抗腫瘍活性と誘導体の開発—New Food Industry 53 (10):
27-43 2011.10
- 3) 牧純, 中野友寛, 関谷洋志, 渡部真衣, 玉井栄治, 坂上 宏, 秋山伸二, 難波弘行, 柴田和彦,
八重徹司, 山口巧, 相良英憲, 出石文男：日本人の広節裂頭条虫感染とく駆虫薬に関する文献調査研究（論文総説）愛媛県病薬会誌通 110: 9-13 2012.3

C. その他の刊行物

- 1) 坂上 宏, 岩本祥子, 松田友彦, 北嶋まどか, 大泉浩史, 大泉高明：クマザサ抽出液（ササヘルス）の口内炎治療効果の可能性：培養ヒト歯肉線維芽細胞による炎症性サイトカイン産生の抑制 New Food Industry 53 (7): 11-18 2011.7
- 2) 松田友彦, 北嶋まどか, 大泉浩史, 大泉高明, 坂上 宏：クマザサ抽出液（ササヘルス）及び luteolin 配糖体の紫外線に対する細胞保護効果. New Food Industry 53 (7): 19-25 2011.7
- 3) 牧 純, 村田安紀奈, 西岡茉莉, 菅野裕子, 有田幸太郎, 廣瀬恭子, 日野和彦, 中野友寛, 藤井佑輔, 渡部真衣, 坂上 宏, 関谷洋志, 秋山伸二, 難波弘行, 荒木 潤, 玉井栄治：環太平洋地帯及び近隣諸国の寄生虫感染と治療薬に関する文献調査の試み—渡航医学と渡航や薬学の視点より松山大学論集. 第 23 巻題 4 号: 191-214 2011.10
- 4) 矢澤幸平, 坂上 宏：雑感 ポリフェノールはなぜ効くのか. New Food Industry 53 (10): 44-48 2011.10
- 5) 牧 純, 関谷洋志, 玉井栄治, 坂上 宏：人体への寄生虫感染を警戒すべき食材(1) — 特に広東住血線虫の感染源となりうるもの（ノート） New Food Industry 53 (5): 23-26 2011.5
- 6) 牧 純, 関谷洋志, 玉井栄治, 坂上 宏：人体への寄生虫感染を警戒すべき食材（2）— 肝吸虫（旧名肝ジストマ）の感染源となるもの（ノート） New Food Industry 53 (9): 37-42 2011.9
- 7) 牧 純, 関谷洋志, 玉井栄治, 坂上 宏：人体への寄生虫感染を警戒すべき食材（3）— 日本海裂頭条虫の感染源となりうるもの（ノート）New Food Industry 53 (11): 37-40 2011.11
- 8) 牧 純, 関谷 洋志, 玉井 栄治, 坂上 宏：人体への寄生虫感染を警戒すべき食材（4）— ウェステルマン肺吸虫の感染源となりうるもの（ノート） New Food Industry 54 (2): 36-40 2012.2
- 9) 牧 純, 難波弘行, 秋山伸二, 宇都宮良子, 和田彩加, 廣瀬恭子, 坂上 宏, 関谷洋志, 玉井

- 栄治, 柴田和彦, 八重徹司, 山口巧, 相良英憲, 出石文男 : 薬学研修のための「渡航と旅行の薬学」愛媛県より海路で別府市 (大分県) を 3 月訪問する事前・事後の調査研究とケーススタディ. 愛媛県病薬会誌通巻 109 : 21-29 2011.11
- 10) 牧 純, 坂上 宏, 関谷洋志, 玉井栄治, 鳥居鉦太郎, 大内裕和 : 薬学史の時代区分に関する研究(2)－豊後中世における別府温泉の保健医療関係誌をもとにした考究－松山大学論集 第 23 巻題 1 号 : 143-162 2011.4
- 11) 教育論文牧純, 関谷洋志, 渡部真衣, 玉井栄治, 坂上 宏 : 接頭語から入る薬学系の英単語の A から Z まで (ノート) 愛媛県病薬会誌通 110, 15-18 2012.3

D. 学会発表

1. 国際学会

(3)一般演題

- 1) Molnar P, Horvath G, Turcsi E, Deli J, Kawase M, Satoh K, Tanaka T, Tani S, Sakagami H, Gyemant and Molnar J : Cartenoid composition and *in vitro* pharmacological activity of rose hips 16th International symposium on cartenoids. Krakow, Poland 2011.7
- 2) Adachi K, Koshikawa N and Kobayashi M : Physiological and morphological features of layer II/III pyramidal cells in rat insular cortex. IBRO, Florence, Italy, 2011.7
- 3) Koh T, Yuhara K, Muraklami Y, Machino M and Sakagami H : Cytotoxicity of dental medicaments against oral normal and tumor cells. 45th Meeting of the Continental European Division (CED) of IADR2011, Budapest, 2011.9
- 4) Sakagami H, Kushida T, Makino T, Tomomura M and Tomomura A : Enhanced Dectin-2 gene expression by lignin-carbohydrate complex in macrophages. 45th Meeting of the Continental European Division (CED) of IADR2011, Budapest, 2011.9
- 5) Hirano K, Tamura N, Shimada J, Sakagami H and Saitoh J : Synergistic cytotoxicity of SN-38 and gefitinib against OSCC cell line. 45th Meeting of the Continental European Division (CED) of IADR2011, Budapest2011.9
- 6) Jimenez-Bueno I, García-Contreras R, Sakagami H, Kobayashi K, Nakamura Y and Nakajima H : Impacto citotóxico de cuatro cementos endodónticos en seis líneas celulares. FDI World Dental Federation Annual World Dental Congress, Mexico City, Mexico, 2011.9
- 7) García-Contreras R, Kanagawa S, Beppu Y, Nagao T, Sakagami H, Nakajima H, Shimada J and Adachi K : Morphological features of osteoblast cultured on ultraviolet-irradiated titanium plates. FDI Annual World Dental Congress 2011, Mexico City, Mexico, 2011.9

2. 全国学会

(2)シンポジウム

- 1) Adachi K : Abnormalities of masticatory movements in MPTP-induced hemi-perkinsonian

- monkey. 日本大学歯学部学術フロンティア推進事業 シンポジウム 2011, 東京, 2011.11
- 2) 坂上 宏, 田中 庄二, 町野 守, 杉本 昌弘, 曾我 朋義, 富田 勝 : 加齢および歯周病に伴う唾液成分の変動: アミノ酸分析およびメタボローム解析. 第 25 回唾液腺談話会, 岐阜, 2011.9
- (3)一般演題
- 1) Adachi K, Kobayashi M, Sakagami H and Koshikawa N : Analysis of masticatory movements in MPTP-induced hemi-parkinsonian monkey. 第 53 回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜, 2011.10
 - 2) 梅村直己, Sarker SN, 坂上 宏 : Defective NF- κ B Signaling in Metastatic Head and Neck Cancer Cells Leads to Enhanced Apoptosis by Double-Stranded RNA. 第 85 回日本薬理学会年会, 京都, 2012.3
 - 3) 田島雅道, 坂上 宏 : Reactive α -dicarbonyl compounds enhance bisphosphonate-induced endothelial injury. 第 85 回日本薬理学会年会, 京都, 2012.3
 - 4) Adachi K, Kobayashi M, Koshikawa N and Sakagami H : Responses of insular cortical neurons to orofacial noxious stimulation. 第 85 回日本薬理学会年会, 京都, 2012.3
 - 5) Tomomura M, Hasegawa H, Suda N, Sakagami H and Tomomura A : Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, suppress RANKL-stimulated bone resorptive activity of mature osteoclasts. 第 34 回日本分子生物学会年会, 横浜, 2011.12
 - 6) 田島雅道, 坂上 宏 : Zoledronate による血管内皮細胞障害にはグルコース濃度が重要な役割を果たしている. 第 125 回日本薬理学会関東部会, 船橋, 2011.10
 - 7) 田島雅道, 坂上 宏 : Zoledronate の血管内皮細胞障害に対する保護作用物質の機序について. 第 53 回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜, 2011.10
 - 8) 前川雄哉, 田島雅道, 田草川 徹, 坂上 宏, 嶋田 淳 : Zoledronate 反復投与による骨創傷治癒遅延とその防止に関する研究. 第 56 回日本口腔外科学会学術大会, 大阪, 2011.10
 - 9) 田草川 徹, 松山博康, 田島雅道, 坂上 宏, 嶋田 淳 : Zoledronate の細胞増殖阻害に対する洗浄血小板抽出物質の影響. 第 56 回日本口腔外科学会学術大会, 大阪, 2011.10
 - 10) 黒田明平, 内田真吾, 三巻祥浩, 坂上 宏 : キンポウゲ科植物の化学成分 (20) Adonis amurensis の成分について (4) . 日本生薬学会第 58 回年会, 東京, 2011.9
 - 11) 岩本祥子, 松田友彦, 坂上 宏, 北嶋まどか, 大泉浩史, 大泉高明 : クマザサ抽出液は, ヒト歯肉線維芽細胞による IL-8 の産生を抑制する. 第 53 回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜, 2011.10
 - 12) 坂上 宏, 松田友彦, 佐藤和恵, 寺久保繁美, 金本大成, 中島秀喜, 森田ゆりか, 大久保温子, 津田 整, 須永克佳, 北嶋まどか, 大泉浩史, 大泉高明 : クマザサ葉抽出物を材料とした 3 つの製品の生物活性の比較検討. 第 85 回日本薬理学会年会, 京都, 2012.3
 - 13) 松田友彦, 岩本祥子, 坂上 宏, 佐藤和恵, 北嶋まどか, 大泉浩史, 大泉高明 : クマザサ葉

- 由来ルテオリン配糖体の抗酸化作用. 第 53 回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜, 2011.10
- 14) 坂上 宏, 松田友彦, 岩本祥子, 友村美根子, 友村明人, 櫛田達矢, 牧野徹: シイタケ菌糸体由来リグニン配糖体による Dectin-2 遺伝子発現の増強. 第 53 回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜, 2011.10
 - 15) 石原真理子, 坂上 宏, 齋藤 潤, 東風幹子: ベンジリデンアスコルベートおよびベンズアルデヒドの細胞傷害性誘導における過酸化水素の役割. 第 85 回日本薬理学会年会, 京都, 2012.3
 - 16) 増田裕子, 上田純也, 田村雅史, 白瀧義明, 坂上 宏, 友村美根子, 友村明人: ラン科植物 *Odontoglossum Harvengtense* 'Tutu' バルブ抽出物の生理活性について 日本生薬学会第 58 回年会, 東京 2011.9
 - 17) 増田裕子, 鈴木龍一郎, 坂上 宏, 梅村直己, 上田純也, 白瀧義明: ラン科植物の *Odontioda Marie Noel* 'Velano' の細胞傷害性について. 日本薬学会第 132 年会, 札幌, 2012.3
 - 18) 加藤崇雄, 堀江憲夫, 松田友彦, 岩本祥子, 金子 忠良, 下山 哲夫, 佐藤和恵, 草間 薫, 坂上 宏, : 漢方薬, 漢方成分及びグリチルリチンの紫外線に対する細胞保護作用. 第 53 回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜, 2011.10
 - 19) 田中庄二, 秋田紗世子, 町野守, 坂上 宏, 杉本昌弘, 曾我朋義, 富田勝: 歯周病重症化を反映した唾液診断マーカーの検索. 第 53 回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜, 2011.10
 - 20) 安達 一典, 小林 真之, 坂上 宏, 越川 憲明: 島皮質 AI の舌侵害刺激への応答. 第 5 回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 長野, 2011.12
 - 21) 梅村直己, 坂上 宏, Sarker Saumendra: 頭頸部扁平上皮癌転移巣における Toll 様受容体シグナル伝達の役割. 第 53 回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜, 2011.10
 - 22) 堀井春香, 鈴木龍一郎, 坂上 宏, 梅村直己, 上田純也, 白瀧義明: 白鶴霊芝 の細胞傷害性について. 日本薬学会第 132 年会, 札幌, 2012.3
 - 23) 植沢芳広, 毛利公則, 河瀬正美, 石原真理子, 坂上 宏: 分子軌道法を用いた 1,2,3,4-tetrahydroisoquinoline 誘導体の構造と腫瘍選択性との相関関係の予測. 第 85 回日本薬理学会年会, 京都, 2012.3
 - 24) 坂上 宏, 松田友彦, 田中庄二, 町野 守, 日野峻輔, 堀江憲夫, 下山哲夫, 杉本昌弘, 曾我朋義, 富田 勝: 老化におけるグリシン産生の生理的意義. 第 48 回日本口腔組織学会, 浦安, 千葉, 2011.11

E. その他、研究会、講演など

- 1) 坂上 宏: ササヘルスの新規薬理作用緑健会中国四国地区研究会, 岡山, 2011.7
- 2) 坂上 宏: ササヘルスの新規薬理作用緑健会東海北陸地区研究会, 名古屋, 2011.6

3)坂上 宏：ササヘルスの新規薬理作用緑健会関東甲信越地区研究会，東京，2011.8

4)坂上 宏：ササヘルスの新規薬理作用緑健会関西地区研究会，大阪，2011.9

F.研究助成金等の受け入れ

1.文部省科学研究費補助金

1) 長坂 浩（代表）、坂上 宏（分担）麻酔薬の各種悪性腫瘍細胞に対するオートファジー誘導活性、基盤研究 C，2011 年

2) 波多野力（代表）、坂上 宏（分担）機能性食品中の腫瘍細胞への作用物質としてのポリフェノールの研究，基盤研究 C，2011 年

3) 片山直（代表）、坂上 宏、梅村 直己（分担）ヒト歯髄幹細胞を用いた硬組織再生の試み、基盤研究 C、2011 年

2.その他の公的機関からの助成金

3.宮田研究奨励金（A）および（D）

1) 田島雅道：ビスフォスフォネートによる血管内皮細胞障害の制御に関するバイオイメージング解析，2011 年

総合口腔診断学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 石井宏明, 村上幸生 : *p*-Cresol 二量体による LPS 誘発性 TNF- α 発現の調節作用. 明海歯学, 40 巻, 2 号, 136-145, 2011 年 4 月.
- 2) 高松紗耶子, 村上幸生, 荻原孝子, 町野 守, 保科修平 : 7 年間のインプラントの臨床的評価. 日口診誌, 24 巻, 2 号, 155-158, 2011 年 6 月.
- 3) Murakami, Y., Yuhara, K., Takada, N., Arai, T., Tsuda, S., Takamatsu, S., Machino, M. and Fujisawa, S. : Effect of melatonin on cyclooxygenase-2 expression and nuclear factor- κ B activation in RAW264.7 macrophage-like cells stimulated with fimbriae of *Porphyromonas gingivalis*. *In vivo*, 25, 641-648, July 2011.

3. 症例報告

- 1) 関 勇哉, 宇津木千鶴, 高 泰浩, 村上幸生, 町野 守 : 乳癌からの多発性骨転移に対する放射線治療後に顎骨壊死を生じた 1 例. 明海歯学, 41 巻, 1 号, 49-53, 2012 年 3 月.

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Koh, T., Yuhara, K., Murakami, Y., Machino, M. and Sakagami, H. : Cytotoxicity of dental medicaments against oral normal tumor cells. 45th meeting of the CED-IADR, Budapest, Hungary, Sept. 2011.

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 町野 守 : 意図的再植、移植をめぐって第 1 回外傷歯学会東日本地方会学術大会, 東京, 2011 年 10 月.

(3) 一般演題

- 1) 関 勇哉, 片岡 綾, 真野 博, 町野 守 : コラーゲンペプチッドがマウス顎骨に与える影響. 第 65 回日本口腔科学会, 東京, 2011 年 4 月.
- 2) 村上幸生, 丸山剛央, 浅野愛, 津田靖子, 高松紗耶子, 高 泰浩, 荻原孝子, 岡田典久, 田中庄二, 町野 守 : 口腔乾燥症に関連した舌痛の 2 例. 第 24 回日本口腔診断学会, 東京, 2011 年 5 月.

- 3) 高 泰浩, 荻原孝子, 高松紗耶子, 村上幸生, 田中庄二, 岡田典久, 町野 守: 臨床診断と病理組織学的所見が異なった症例の検討. 第24回日本口腔診断学会, 東京, 2011年5月.
- 4) 高松紗耶子, 津田靖子, 関 勇哉, 村上幸生, 町野 守: 10年間に病理組織学的検討を行った扁平苔癬の病理学的、臨床的検討. 第21回日本口腔粘膜学会, 鹿児島, 2011年9月.
- 5) 坂上 宏, 田中庄二, 町野 守, 杉本昌弘, 曾我朋義, 富田 勝: 加齢および歯周病に伴う唾液成分の変動: アミノ酸分析およびメタボローム解析. 第53回歯科基礎医学会学術大会サテライトシンポジウムⅡ唾液腺談話会, 岐阜, 2011年9月.
- 6) 田中庄二, 秋田紗世子, 町野 守, 坂上 宏, 杉本昌弘, 曾我朋義, 富田 勝: 歯周病重症化を反映した唾液診断マーカーの検索. 第53回歯科基礎医学会, 岐阜, 2011年9月.
- 7) 坂上 宏, 松田友彦, 田中庄二, 町野 守, 日野峻輔, 堀江憲夫, 下山哲夫, 杉本昌弘, 曾我朋義, 富田 勝: 老化におけるグリシン産生の生理的意義. 第48回日本口腔組織培養学会学術大会, 浦安, 2011年11月.

E. その他の研究会、講演など

- 1) 村上幸生, 荻原孝子, 浅野 愛, 前川まゆき: 明海大学歯学部における共用試験歯学系 OSCE の役割と概要 - 歯科医学教育ならびに歯科医師育成のための second step-. 財団法人ライフプランニングセンター模擬患者定例研修会, 東京, 2011年7月.

F. 研究助成金等の受入

1. 文部科学省研究費補助金

- 1) 岡田典久: 光照射によるフェノール系抗酸化剤の癌細胞への影響. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C). 2011年4月.
- 2) 村上幸生: 酸化還元感受性転写因子の抗酸化性フェノール関連化合物による調節作用を探る. 日本学術振興会科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C). 2011年4月.

3. 宮田研究奨励金等の受入

- 1) 村上幸生: フェノール関連化合物による *Porphyromonas gingivalis* 刺激転写因子活性化の調節作用を探る. 宮田研究奨励金(A). 2011年4月.

歯科放射線学分野

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 高橋伸年：エックス線撮影の読影(4)エックス線診断(下顎の疾患):No.543 埼玉歯科医師会 埼玉だより pp.21-25 2011.6
- 2) 奥村泰彦,高橋伸年,井上信行,小澤智宣,沼田真美,篠原勇輝,山秋 史,小泉伸秀,大高祐聖,流石麻由,井澤真希,瀬寄雄介,鈴木 優：2011 年度歯科放射線学実習張 pp.1-48 (共書 リュウワ印刷 埼玉) 2011.9

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 頼近 繁, 奥津史子, 草野寿之, 松川高明, 豊田有美子, 根来理沙, 眞木信太郎, 濱坂弘毅, 内田寿乃, 篠原勇輝, 奥村泰彦, 大川周治：運動エネルギーを指標とした新しい咀嚼機能評価について 下顎運動体の重量測定法の検討:明海歯科医学 40 巻 2 号 pp 194-198 2011.9

3. 症例報告

- 1) 瀬寄雄介,小泉伸秀,大高祐聖,篠原勇輝,小澤智宣,高橋伸年,奥村泰彦：下顎左側に広範囲にセメント質骨形成線維腫を認めた 1 例:日本歯科放射線学会第 16 回臨床画像大会(新潟)2011.9
- 2) 流石麻由,瀬寄雄介,大高祐聖,小澤智宣,奥村泰彦：下顎頭内側に発生した滑膜性軟骨症が疑われる一症例:日本歯科放射線学会第 16 回臨床画像大会(新潟)2011.9

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Otaka Y, Numata M, Sasuga M, Suzuki S, Sakashita H and Okumura Y : A case that US was effective for detection of the cervical lymph node metastasis: The 18th International congress of Dent-maxillo-facial radiology (Hiroshima Japan) 2011.5
- 2) Shinohara Y, Ozawa T, Koizumi N, Izawa M, Kimura N and Takahashi N : A case of bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaws (BRONJ) which developed to patient of the bone metastasis cancer: The 18th International congress of Dent-maxillo-facial radiology (Hiroshima Japan) 2011.5

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) 篠原勇輝：下顎骨骨梁構造の画像形成に関する評価-口腔内フィルム-IP,CCD の違いによる影響-:明海歯科医学会第 15 回学術大会(埼玉)2011.6
- 2) 山秋 史：顎関節診断装置の開発に関する研究:明海歯科医学会第 15 回学術大会(埼玉)2011.6
- 3) 井澤真希,原田康雄,流石麻由,小澤智宣,奥村泰彦:口内法撮影における最適化のための撮影条件調査:日本歯科放射線学会第 211 回関東地方会・第 30 回北日本地方会第 18 回合同地方会（新潟） 2011.7
- 4) 金田 隆, 浅海淳一, 奥村泰彦, 佐野 司, 清水谷公成, 小豆島正典, 田口 明, 内藤宗孝, 本田和也, 森本泰宏, 代居 敬, 勝又明敏, 岡野友宏, 有地榮一郎：NPO 法人日本歯科放射線学会教育委員会歯科医師生涯学習研修会および生涯学習アンケート結果について:30 回日本歯科医学教育学会総会（東京） 2011.7
- 5) 井澤真希,原田康雄,鈴木 優,木村直人,小泉伸秀,井上信行,高橋伸年,奥村泰彦：口内法 X 線写真の画質と患者線量:日本歯科放射線学会第 211 回関東地方会・第 30 回北日本地方会第 18 回合同地方会（東京） 2011.12
- 6) 流石麻由,瀬寄雄介,大高祐聖,小澤智宣,奥村泰彦：トレース実習におけるタブレット型 P C の利用:日本歯科放射線学会第 211 回関東地方会・第 30 回北日本地方会第 18 回合同地方会（東京） 2011.12
- 7) 大高祐聖：超音波診断装置におけるコントラスト評価:明海歯科医学会第 16 回学術大会(埼玉)2011.12
- 8) 小泉伸秀：口腔内デジタルエックス線撮影装置に用いられる CCD(Charge Coupled Device)の粒状性に関する研究:明海歯科医学会第 16 回学術大会(埼玉)2011.12

E.その他の研究会、講演等

- 1) 奥村泰彦：歯科領域における画像診断:静岡県歯科医師会学術講演会（静岡） 2012.2
- 2) 高橋伸年：歯科医師が知っておきたい、放射線の基礎知識と放射線の最新事情:秩父郡歯科医師会講習会(埼玉)2012.3

口腔顎顔面外科学分野 I

B. 学術論文

3. 症例報告

- 1) Mori K, Shimada J, Tamura N, and Tamura N : Glycogen-rich adenocarcinoma in the lower lip: report of a case with particular emphasis on differential diagnosis. Open Journal of Stomatology 1, 109-113 2011.9
- 2) 田村 暢章, 森 一将, 菊池 建太郎, 田村 希, 竹島 浩, 草間 薫, 嶋田 淳 : 上顎洞内に進展した角化嚢胞性歯原性腫瘍の 1 例第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (大阪国際会議場 : 大阪府吹田市) 2011.10
- 3) 田村 暢章, 森 一将, 龍田 恒康, 竹島 浩, 別府 祐次, 原口 茂樹, 武田 順天, 嶋田 淳 : 口蓋に発生した筋上皮腫の 1 例日本口腔診断学会誌 24(3) 307-310 2011.10
- 4) Kazumasa Mori, Jun Shimada, Nozomi Tamura, Nobuaki Tamura : Glycogen-rich adenocarcinoma in the lower lip: report of a case with particular emphasis on differential diagnosis Open Journal of Stomatology 1, 109-113 2011.10
- 5) 田村 暢章, 森 一将, 菊池 建太郎, 田村 希, 竹島 浩, 草間 薫, 嶋田 淳 : 上顎洞内に進展した角化嚢胞性歯原性腫瘍の 1 例第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (大阪国際会議場 : 大阪府吹田市) 2011.10
- 6) 小貫 裕之, 森 一将, 田村 暢章, 田村 希, 前川 雄哉, 嶋田 淳 : 注入型シリコン剤により発症した異物肉芽腫の 1 例第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (大阪国際会議場 : 大阪府吹田市) 2011.10
- 7) 田村 暢章, 森 一将, 龍田 恒康, 竹島 浩, 別府 祐次, 原口 茂樹, 武田 順天, 嶋田 淳 : 口蓋に発生した筋上皮腫の 1 例日本口腔診断学会誌 24(3) 307-310 2011.10
- 8) 小貫裕之・森 一将・田村暢章・田村 希・前川雄哉・嶋田 淳 : 注入型シリコン剤により発症した異物肉芽腫の 1 例日本口腔外科学会総会 2011.10
- 9) 大原正太郎・小貫裕之・森 一将・嶋田 淳 : 東日本大震災被災地歯科医療支援活動に参加して埼玉県歯科医師会 2012.2
- 10) 荻野未来・森 一将・小貫裕之・龍田恒靖・竹島 宏・嶋田 淳 : 当科における過去 10 年間の下顎骨骨折の臨床的検討埼玉県歯科医師会 2012.2

C. その他の刊行物

- 1) 森 一将 : 口腔粘膜疾患が見えてくる DH style 67 6 17-31 2012.2
- 2) 森 一将, 嶋田 淳 : インプラント卒前・卒後教育の現場から 一貫した教育システムの下で幅広く歯科医療に貢献できる力を培う Quintessence DENTAL Implantology Vol 19 2 62-65 2012.3

D. 学会発表

2. 全国学会

(1)特別講演

1)森一将：口腔衛生活動に生かせるオーラルメディスン第 29 回日本顎咬合学会 2011.6

(3)一般演題

- 1) 田村 暢章, 森 一将, 菊池 建太郎, 小貫 裕之, 田草川 徹, 龍田 恒康, 竹島 浩, 草間 薫, 嶋田 淳：当科における顎骨内嚢胞状病変に関する検討第 65 回日本口腔科学会学術集会（タワーホール船堀：東京都）2011.4
- 2) 森 一将, 小貫裕之, 田村 希, 田村暢章, 嶋田 淳：漢方療法を行った症例の臨床的検討第 65 回日本口腔科学会総会 船堀 2011.4
- 3) 田村暢章, 森 一将, 菊池建太郎, 小貫裕之, 田草川徹, 龍田恒康, 竹島 浩, 草間 薫, 嶋田 淳：当科における顎骨内嚢胞状病変に関する検討第 65 回日本口腔科学会総会 船堀 2011.4
- 4) 田村 暢章, 森 一将, 小貫裕之, 田村 希, 嶋田 淳：当科における顎骨内嚢胞状病変に関する検討第 55 回日本口腔科学会総会 2011
- 5) 田村 暢章, 森 一将, 菊池 建太郎, 小貫 裕之, 田草川 徹, 龍田 恒康, 竹島 浩, 草間 薫, 嶋田 淳：当科における顎骨内嚢胞状病変に関する検討第 65 回日本口腔科学会学術集会（タワーホール船堀：東京都）2011.4
- 6) 森 一将, 田村 暢章, 田村 希, 龍田 恒康, 嶋田 淳：漢方療法を行った症例の臨床的検討第 65 回日本口腔科学会学術集会（タワーホール船堀：東京都）2011.4
- 7) 平野 久美, 田村 暢章, 森 一将, 龍田 恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳：卒前口腔インプラント学教育実習に関するアンケート調査第 30 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会および記念大会（日本歯科大学生命歯学部：東京都千代田区）2011.7
- 8) 平野久美, 田村暢章, 森一将, 龍田恒康, 嶋田淳：卒前口腔インプラント学教育実習に関するアンケート調査第 30 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 2011.7
- 9) 平野 久美, 田村 暢章, 森 一将, 龍田 恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳：卒前口腔インプラント学教育実習に関するアンケート調査第 30 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会および記念大会（日本歯科大学生命歯学部：東京都千代田区）2011.7
- 10) 田村 暢章, 平野 久美, 竹島 浩, 鈴木 玲爾, 嶋田 淳：卒業前における口腔インプラント学実習に関するアンケート調査第 41 回日本口腔インプラント学会学術大会（名古屋国際会議場：愛知県名古屋市）2011.9
- 11) 森 一将, 嶋田 淳, 大森喜弘：口腔領域の腫瘍および上皮性異形成における M2 マクロファージの発現動態第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2011.10

- 12) 小貫 裕之、森 一将、田村暢章、田村 希、嶋田 淳：注入型シリコン剤により発症した異物肉芽腫の1例第56回日本口腔外科学会総会・学術大会 2011.10
- 13) 田村 暢章、森 一将、小貫裕之、田村 希、嶋田 淳：SN-38 がヒト口腔扁平上皮癌細胞に及ぼす細胞死の解析第56回日本口腔外科学会総会・学術大会 2011.10
- 14) 田村暢章、森 一将、田村 希、小貫裕之、竹島 浩、嶋田 淳：上顎洞内に進展した角化?胞性菌原性腫瘍の1例第56回日本口腔外科学会総会・学術大会 2011.10
- 15) 荻野未来、森 一将、小貫裕之、龍田恒康、竹島 浩、嶋田 淳：当科における過去10年間の下顎骨骨折の臨床的検討平成23年度埼玉県歯科医学大会 さいたま市 2012.2
- 16) 大原正太郎、小貫裕之、森 一将、嶋田 淳：東日本大震災歯科医療支援活動に参加して平成23年度埼玉県歯科医学大会 さいたま市 2012.2
- 17) 龍田恒康：歯科治療時における全身管理（術前と術中モニタリング管理について）、第29回日本顎咬合学会学術大会・総会、2011.6

E. その他の研究会、講演等

- 1) 森 一将：口腔粘膜疾患の鑑別第4回 明海大学歯学部附属病院病診連携講演会 坂戸市 2012.2
- 2) 龍田恒康：歯科治療時における全身管理について、明海大学歯学部同窓会近畿ブロック学術講演会、神戸市、2011.10
- 3) 龍田恒康、佐々木妥啓、嶋田 淳：インプラント症例の全身的合併症の対応と救急処置、Continuing Dental Education 2011、浦安市、2011.11
- 4) 龍田恒康：歯科医療と救急蘇生、PDI(埼玉歯科診療所)臨床研修会 2011、入間市、2011.7

口腔顎顔面外科学分野 II

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 鈴木正二：第 5 章 局所麻酔に必要な解剖. In:臨床歯科麻酔学, 永未書店, 京都, pp128-132, 2011.9
- 2) 鈴木正二：第 5 章 局所麻酔法. In:臨床歯科麻酔学永未書店, 京都, pp145-156, 2011.9
- 3) 鈴木正二：第 5 章 局所麻酔の局所的合併症. In:臨床歯科麻酔学, 永未書店, 京都, pp157-161, 2011.9
- 4) 坂下英明：第 1 章 歯の異常. In:サクシント口腔外科学 学建書院, 東京, pp4-19, 2011.11
- 5) 坂下英明,重松久夫：第 2 章 上顎骨骨折. In:サクシント口腔外科学 学建書院, 東京, pp84-93, 2011.11
- 6) 坂下英明：第 4 章 粘膜疾患. In:サクシント口腔外科学 学建書院, 東京, pp140-157, 2011.11
- 7) 坂下英明：第 6 章 良性腫瘍. In:サクシント口腔外科学 学建書院, 東京, pp214-271, 2011.11
- 8) 坂下英明,重松久夫：治療編 第 1 章 消毒法. In:サクシント口腔外科学 学建書院, 東京, pp410-413, 2011.11
- 9) 坂下英明,重松久夫：治療編 第 1 章 切開法. In:サクシント口腔外科学 学建書院, 東京, pp414-417, 2011.11
- 10) 坂下英明,鈴木正二：治療編 第 1 章 患者評価. In:サクシント口腔外科学 学建書院, 東京, pp426-427, 2011.11
- 11) 坂下英明,鈴木正二：治療編 第 1 章 救急蘇生法. In:サクシント口腔外科学 学建書院, 東京, pp430-433, 2011.11
- 12) 坂下英明,福田正勝：治療編 第 3 章 口腔ケア. In:サクシント口腔外科学 学建書院, 東京, pp548-549, 2011.11

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 岡本英里,柳下治男,菅原良和,奥結香,菊池建太郎,草間薫,坂下英明：角化嚢胞性歯原性腫瘍の臨床病理学的・免疫組織化学的検討. 小児口腔外科 21(1) 51-63, 2011.6

- 2) Patricia González-Alva, Harumi Inoue, Yuji Miyazaki, Hozumi Tsuchiya, Yoshihiro Noguchi, Kentaro Kikuchi, Fumio Ide, Sachiyo Ishihara, Tadashi Katayama, Hideaki Sakashita, Kaoru Kusama: Podoplanin expression in odontomas: clinicopathological study and immunohistochemical analysis of 86 cases. *Journal of Oral Science* 53(1) 67-75, 2011.1
- 3) 田中 真, 福田正勝, 菅原良和, 柳下治男, 草間 薫, 坂下英明: 口腔扁平上皮癌における Interleukin (IL)-23 の発現と動態について. *Hospital Dentistry & Oral-Maxillofacial Surgery* 22(2), 163-173, 2011.6
- 4) 井上勝元, 大山嘉人, 川本幸寛, 瀧澤将太, 奥結香, 岡本英里, 福田正勝, 重松久夫, 天野修, 菊池健太郎, 草間 薫, 鈴木正二, 坂下英明: 当科において過去 40 年間で診断した口腔顎顔面領域の悪性腫瘍 541 例の臨床病理学的検討. *明海歯科医学* 40 (2) 173-179, 2011.9
- 5) Harumi Inoue, Yuji Miyazaki, Kentaro Kikuchi, Noriaki Yoshida, Fumio Ide, Yoahiro Ohmori, Akihiko Tomomura, Hideaki Sakashita, Kaoru Kusama: Podoplanin expression during dysplasia-carcinoma sequence in the oral cavity. *Tumor Biol.* 33 183-194, 2011.11

2. 総説

- 1) 坂下英明, 重松久夫: 口腔粘膜骨膜弁の切開法-その基礎と変法- *Pediatric Oral and Maxillofacial surgery* 21(1) 33-50, 2011.6
- 2) Masakatsu Fukuda, Kaoru Kusama and Hideaki Sakashita: Molecular insights into the proliferation and progression mechanisms of the oral cancer: strategies for the effective and personalized therapy. *Japanese Dental Science Review.* 48 23-41, 2012.2

3. 症例報告

- 1) 細川恵一, 重松久夫, 奥 結香, 堀 智一, 鈴木正二, 坂下英明: 茎状突起過長症に対し口外法により手術した 1 例. *日本口腔外科学会雑誌*, 57(5) 299-303, 2011.5
- 2) 鈴木 円, 岡本英里, 大山嘉人, 川本幸寛, 柳下治男, 菅原良和, 田中章夫, 坂下英明: Rhomboid-to-W Technique を応用した外歯瘻手術. *Hosp. Dent. (Tokyo)* 23(1) 63-66, 2011
- 3) 須賀則幸, 重松久夫, 菊池健太郎, 鈴木正二, 草間薫, 坂下英明: 上顎洞に進展した chronic expanding hematoma の 1 例. *日本口腔外科学会雑誌* 58(3) 132-136, 2012.3

C. その他の刊行物等

- 1) 坂下英明：ブランダンヌーンのう胞.保健同人社,暮らしと健康, pp75 2012.4
- 2) 坂下英明：口腔がん早期発見は先生方が最前線です 第3回 口腔癌の最新治療.埼玉だより, No.545, pp46-48 2012.12

D. 学会発表

1. 国際学会

(3)一般演題

- 1) Otaka Y, Numata M, Sasuga M, Suzuki S, Sakashita H, Okumura Y : A case that US was effective for detection of the cervical lymph node metastasis 18th International Congress of Dento-Maxillo-Facial Radiology. Accompanied with 52th Annual Congress of Japanese Society for Oral and Maxillofacial Radiology. Hiroshima, Japan, 2011.5
- 2) Masakatsu Fukuda, Kaoru Kusama and Hideaki Sakashita : Interleukin (IL)-23 promotes growth and proliferating activity of oral squamous cell carcinomas International Conference & Exhibition on Cancer Science & Therapy, Aug. 15-17, 2011, in Las Vegas, USA 2011.8

F. 研究助成金等の受入

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 坂下英明, 福田正勝, 大森喜弘：サイトカインを標的とした口腔癌の増殖・進展メカニズムの解明平成23年度 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 C (169万円) 2011.4

3. 宮田研究奨励金

- 1) 奥 結香：口腔癌におけるアデノウイルス受容体(CAR; CXADR)の役割 2011年度 宮田研究奨励金(A)78万円 2011.6

社会健康科学講座

口腔衛生学分野

医療情報学分野

スポーツ歯学分野

障害者歯科学分野

口腔衛生学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 杉 陽子, 清水良昭, 深井智子, 竹下 玲, 高橋明子, 松本 勝, 柴田えり子, 宮澤 慶, 末續真弓, 永井明子, 半澤明子, 流石知佳, 上田智恵, 兼定幸代, 仲筋宣子, 安井利一: 中学生・高校生を対象として試作した「あごの健康診断チャート」の学校歯科保健活動における有用性. 明海歯科医学 Vol. 41, 20-33, 2011年4月
- 2) Murayama R, Kobayashi M, Takeshita A, Yasui T and Yamamoto M: MAPKs, activator protein-1 and nuclear factor- κ B mediate production of interleukin-1 β -stimulated cytokines, prostaglandin E₂ and MMP-1 in human periodontal ligament cells. J Periodontal Res 46, 568-575, 2011年4月

3. 症例報告

- 1) 末續真弓, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 杉 陽子, 流石知佳, 田口耕平, 宮寄至洋, 新保秀樹, 鈴木普久, 安井利一: 3歳児う蝕有病状況からみた2歳児歯科健康診査の必要性. 口腔衛生学会雑誌 Vol. 61, 589-593, 2011年10月

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 宮澤 慶, 松本 勝, 高橋 明子, 深井 智子, 安井 利一: 小・中学生の咬合の状態が運動能力に与える影響についての研究. 明海歯科医学会第14回学術大会, 坂戸市(明海大学歯学部), 2011年6月
- 2) 松本 勝, 宮澤 慶, 深井 智子, 高橋 明子, 安井 利一: マウスガードがゴルフ競技に及ぼす影響について第2報 動画による比較. 第22回日本スポーツ歯科医学会, 千葉市, 2011年6月
- 3) 流石知佳, 松本 勝, 安井利一: 療養型病床群における入院患者の歯の状態について, 第22回日本老年歯科医学会, 新宿, 2011年9月
- 4) 野村圭介, 深井智子, 門田 綾, 松本 勝, 流石知佳, 安井利一: 生活習慣を見直すためのチェックシート使用の効果. 第60回日本口腔衛生学会・総会, 松戸市, 2011年10月
- 5) 竹下 玲, 末續真弓, 広瀬公治, 高野安紀子, 岡本和彦, 福浦えり子, 上田知恵, 下島孝裕, 藤沢政紀, 荒木久生, 安井利一: *Porphyromonas gingivalis* 線毛の阻害作用における β_2 -integrin・CD11/CD18の重要性の解析. 第60回日本口腔衛生学会・総会, 松

戸市, 2011年10月

- 6) 廣瀬公治, 沼田 匠, 大橋 明, 竹下 玲, 安井利一: ニコチンによるマクロファージのTLR-2発現誘導について. 第60回日本口腔衛生学会・総会, 松戸市, 2011年10月
- 7) 高橋明子: 頸部輪郭抽出法による喉頭運動の検出. 明海歯科医学会第189回学術大会, 坂戸市(明海大学歯学部), 2011年10月
- 8) 松本 勝, 宮澤 慶, 深井智子, 安井利一: ポリオレフィンペレットのカスタムメイドマウスガード材料応用についての検討. 第22回日本臨床スポーツ医学会, 青森市, 2011年11月
- 9) 豊島由佳子, 上野俊明, 高橋敏幸, 近藤尚知, 松本芳郎, 宇都宮幸正, 松本 勝, 安井利一, 奥脇 透, 小松 裕, 川原 貴: 過去10年間における我が国のトップアスリーートの歯科保健状況の変化. 第22回日本臨床スポーツ医学会, 青森市, 2011年11月
- 10) 深井智子, 竹下 玲, 末續真弓, 流石知佳, 安井利一: 「セルフチェック顎関節評価表」の継続実施による顎関節症状の変化. 第58回日本学校保健学会, 名古屋市, 2011年11月
- 11) 田中英一, 安井利一, 丸山進一郎, 向井美恵, 井上美津子, 井上雄温, 鏡 宣昭, 佐々木洋, 末續真弓, 関口五郎, 野島 洋, 弘中祥司, 真木吉信, 吉田昊哲: 食育推進における歯科保健の展開-3学会連携の取り組み-. 第49回日本小児歯科学会, 岩手県, 2011年11月

E. その他の研究会、講演等

- 1) 末續真弓: おやつを食べ方と歯をぶつけたときは・・・(よい歯の教室-1). 比企郡(ときがわ町保健センター), 2011年7月
- 2) 深井智子: 赤ちゃんの歯をむし歯にしないために(ハッピー歯科講習会). 北区赤羽健康課, 2012年2月
- 3) 末續真弓: 生活と歯-ちゃんとねていますか?よくたべていますか?(よい歯の教室-2). 比企郡(ときがわ町保健センター), 2012年3月
- 4) 末續真弓: 3歳児う蝕有病状況からみた2歳児歯科健康診査の必要性(2歳児歯科健康診査学習会). 東京都東久留米市(わくわく健康プラザ), 2012年3月
- 5) 宮澤 慶: これからのむし歯予防(卒業教室), 東大和市(東大和市保健相談所), 2012年3月

F. 研究助成金等の受入

1. 文部科学省研究費補助金

- 1) 竹下 玲(研究代表者), 安井利一(分担者), 岡本和彦(分担者), 高野安紀子(分担者):

- 基盤研究 (C), 歯周病原性細菌の細胞内侵入に及ぼす口腔内連鎖球菌の影響. 2011 年度
- 2) 岡本和彦(研究代表者), 安井利一(分担者), 竹下 玲(分担者), 高野安紀子 (分担者), 藤沢政紀 (分担者): 基盤研究 (C), 歯根膜細胞が産生する単球走化性因子 MCP-1 の歯科補綴学における臨床的意義. 2011 年度
- 3) 安井利一(研究代表者), 清水良昭(分担者), 日比野 靖(分担者), 竹下 玲(分担者), 村上幸生(分担者), 松本 勝(分担者), 高野安紀子(分担者): 基盤研究 (C) 歯科バイオマテリアルへの歯周病原細菌の付着機構と特異的抗体による阻害に関する研究. 2011 年度

医療情報科学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 宮崎 裕司, 井上 ハルミ, 菊池 建太郎, 吉田 憲明, 土屋 穂積, 山内 雅司, 落合 邦康, 草間 薫: 口腔内細菌による HPV の活性化および癌進展への関与. 消化器と免疫 48, 93-96, 2011, 2012

D. 学会発表

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) 宮崎 裕司, 菊池 建太郎, 井上 ハルミ, 山内 雅司, 落合 邦康, 草間 薫: 口腔内細菌による HPV の活性化および癌進展への関与. 第48回日本消化器免疫学会総会 (金沢), 2011.7
- 2) 石原 真理子, 山内 雅司: ヒト口腔癌細胞に傷害活性を有する新規イソキノリン誘導体類のデザイン. 第53回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜, 長良川国際会議場, 2011.10

スポーツ歯学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 杉 陽子, 清水良昭, 深井智子, 竹下 玲, 高橋明子, 松本 勝, 柴田えり子, 宮澤 慶, 末續真弓, 永井明子, 半澤明子, 流石知佳, 上田智恵, 兼定幸代, 仲筋宣子, 安井利一 : 中学生・高校生を対象として試作した「あごの健康診断チャート」の学校歯科保健活動における有用性. 明海歯科医学 Vol. 41 , 20-33, 2011 年 4 月

3. 症例

- 1) 末續真弓, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 杉 陽子, 流石知佳, 田口耕平, 宮寄至洋, 新保秀樹, 鈴木普久, 安井利一 : 3 歳児う蝕有病状況からみた 2 歳児歯科健康診査の必要性. 口腔衛生学会雑誌 Vol. 61, 589-593, 2011 年 10 月

D. 学会発表

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) 豊島由佳子, 宇都宮幸正, 近藤尚知, 松本芳郎, 高橋敏幸, 松本 勝, 上野俊明 : 20 歳前後のトップアスリートの智歯保有状況と抜歯の影響. 第 22 回日本スポーツ歯科医学会, 千葉市, 2011 年 6 月
- 2) 松本 勝, 宮澤 慶, 深井 智子, 高橋 明子, 安井 利一 : マウスガードがゴルフ競技に及ぼす影響について 第 2 報 動画による比較, 第 22 回日本スポーツ歯科医学会, 千葉市, 2011 年 6 月
- 3) 流石知佳, 松本 勝, 安井利一 : 療養型病床群における入院患者の歯の状態について. 第 22 回日本老年歯科医学会, 新宿, 2011 年 9 月
- 4) 野村圭介, 深井智子, 門田 綾, 松本 勝, 流石知佳, 安井利一 : 生活習慣を見直すためのチェックシート使用の効果. 第 60 回日本口腔衛生学会, 松戸市, 2011 年 10 月
- 5) 松本 勝, 宮澤 慶, 深井智子, 安井利一 : ポリオレフィンペレットのカスタムメイドマウスガード材料応用についての検討. 第 22 回日本臨床スポーツ医学会, 青森市, 2011 年 11 月
- 6) 豊島由佳子, 上野俊明, 高橋敏幸, 近藤尚知, 松本芳郎, 宇都宮幸正, 松本 勝, 安井利一, 奥脇透, 小松裕, 川原貴 : 過去 10 年間における我が国のトップアスリートの歯科保健状況の変化. 第 22 回日本臨床スポーツ医学会, 青森市, 2011 年 11 月

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部科学省研究費補助金

1) 安井利一(研究代表者), 清水良昭(分担者), 日比野 靖(分担者), 竹下 玲(分担者), 村上幸生(分担者), 松本 勝(分担者), 高野安紀子(分担者): 歯科バイオマテリアルへの歯周病原細菌の付着機構と特異的抗体による阻害に関する研究. 基盤研究 (C), 2011 年度

2. 厚生労働科学研究補助金

1) 三浦 宏子(研究代表者), 尾崎 哲則(分担者), 大内 章嗣(分担者), 松本 勝(分担者), : 歯科口腔保健の推進に関する総合的な研究, 特別研究事業, 2011 年度

障害者歯科学分野

A. 著書及び訳本

2. 訳本

- 1) 清水良昭 他 : kinds, effects and usages of dentifrice; II 章 Tooth brushing ; Manual for oral care-The japanese society of oral care-, Nagato Natsume 編集, 日本口腔ケア学会編, 第1版, クインテッセンス, 東京, 72-74, 2011年3月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 杉 陽子, 清水良昭, 深井智子, 竹下 玲, 高橋明子, 松本 勝, 柴田えり子, 宮澤 慶, 末續真弓, 永井明子, 半澤明子, 流石知佳, 上田智恵, 兼定幸代, 仲筋宣子, 安井利一 : 中学生・高校生を対象として試作した「あごの健康診断チャート」の学校歯科保健活動における有用性. 明海歯科医学 Vol. 41 , 20-33, 2011年4月

C. その他の刊行物等

- 1) 清水良昭 : 嚥下障がい者に対する頸部聴診法の有効性を探る. 科学研究費報告書, 文部科学省, 2011年5月

D. 学会発表

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) 古敷谷昇, 阪口英夫, 清水良昭, 貴島真佐子, 糸田昌隆, 柿木保明 : 口腔機能向上プログラムの実施効果. 第8回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 本郷, 2011年6月
- 2) 神巫未子, 清水良昭, 安井利一, 増野光彦, 三谷良昭 : 市民ボランティア「元気にし隊」と坂戸市の歯の健康づくりー5年を経過してー. 第70回日本公衆衛生学会・総会, 秋田, 2011年10月
- 3) 吉川秀明, 田草川徹, 山田 遼, 清水良昭, 小貫和之, 長坂 浩, 竹島 浩, 嶋田 淳 : 脊髄性筋萎縮症患者における局所麻酔下での智歯抜歯の1症例. 第31回日本臨床麻酔学会, 宜野湾市, 2011年11月

E. その他、研究会、講演等

- 1) 清水良昭 : 小児の歯科治療. PDI 埼玉歯科診療所, 入間市, 2011年11月
- 2) 清水良昭 : 歯科保健と肺炎. 紺屋公民館, 坂戸市, 2012年3月

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 清水良昭: 基盤研究 (C), 嚥下障がい者に対する頸部聴診法の有効性を探る. 2009-2011年
- 2) 安井利一(研究代表者), 清水良昭(分担者), 日比野 靖(分担者), 竹下 玲(分担者), 村上幸生(分担者), 松本 勝(分担者), 高野安紀子(分担者): 基盤研究 (C) 歯科バイオマテリアルへの歯周病原細菌の付着機構と特異的抗体による阻害に関する研究. 2011年

総合臨床医学講座

内 科 学 分 野

眼 科 学 分 野

麻 酔 学 分 野

内科学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 小貫和之, 小宅宏史, 山西優一郎, 内田茂則, 今村敏克, 塚本真規, 吉川秀明, 田島徹, 嶋田淳, 長谷川彰彦, 長坂浩: 亜酸化窒素・セボフルラン全身麻酔下でのペンタゾシンが auditory evoked potential と bispectral index に及ぼす影響. 日本歯科麻酔学会雑誌 39, 628-632, 2011
- 2) 小貫和之, 深井俊一, 吉川秀明, 田島徹, 龍田恒康, 長谷川彰彦, 嶋田淳, 長坂浩: 全身麻酔導入時少量の誤嚥であったにもかかわらず術後肺炎を生じた障害者歯科治療患者の1例. 日本歯科麻酔学会雑誌 40, 42-43, 2012
- 3) 小貫和之, 小貫典子, 長尾泰好, 小宅宏史, 吉川秀明, 森一将, 龍田恒康, 竹島浩, 嶋田淳, 長谷川彰彦, 長坂浩: 亜酸化窒素セボフルラン全身麻酔下ペンタゾシン静脈内投与が BIS 値に及ぼす影響について. 明海歯科医学 41, 44-48, 2012

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 後藤誠一, 井上郁夫, 篠田雄一, 栗原進, 長谷川彰彦, 山田多啓男, 栗田卓也, 片山茂裕: メタボリックシンドローム患者における1年間のMDSコーワの投与効果. 第14回日本病態栄養学会年次学術集会, 横浜, 2011年1月.
- 2) 本河生実, 鈴木正二, 重松久夫, 奥結香, 岡本英里, 長谷川彰彦, 坂下英明: 陳旧性心筋梗塞により著しい心機能低下を認めた患者の観血的処置経験. 第20回日本有病者歯科医療学会総会・学術集会, 東京, 2011年6月.
- 3) 小貫和之, 小宅宏史, 山西優一郎, 内田茂則, 今村敏克, 田島徹, 嶋田淳, 長谷川彰彦, 長坂浩: セボフルラン全身麻酔下ペンタゾシンとフェンタニルの BIS モニタに及ぼす影響. 第39回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 神戸, 2011年10月.

眼科学分野

D. 学会発表

2. 国内学会

(3) 一般演題

- 1) 大澤彰、崎元徹、加島陽二、石川弘、白岩秀隆、南正之、古賀紀子：網膜虚血と共同性斜偏位を合併した Churg-Strauss 症候群の一例第 49 回日本神経眼科学会総会.
神戸 2011. 11

麻酔学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 有坂博史, 長坂浩, 大井良之, 谷口省吾: 歯科麻酔・生体管理学 学建書院 2012.3

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Onuki N, Imamura T, Yamanishi Y, Yoshikawa S, Hagihira S, Shimada J, Nagasaka H :
Pentazocine increases bispectral index without surgical stimulation during nitrous oxide
sevoflurane anesthesia J Anesth 25:946-9 2011.12
- 2) 小宅宏史, 小貫和之, 山西優一郎, 浅見剛史, 小貫典子, 吉川秀明, 嶋田淳, 長坂浩: セボフルラン
全身麻酔下ペンタゾシン静脈内投与の BIS 値に及ぼす影響について 麻酔, 60 巻, 1128
2011.8
- 3) 小貫和之, 小貫典子, 長尾泰好, 小宅宏史, 吉川秀明, 森一将, 龍田恒康, 竹島浩, 嶋田淳, 長谷川
彰彦, 長坂浩: 亜酸化窒素セボフルラン全身麻酔下ペンタゾシン静脈内投与が BIS 値に及
ぼす影響について 明海歯学第 41 巻:1 2012.2

3. 症例報告

- 1) 小貫和之, 深井俊一, 吉川秀明, 田島徹, 龍田恒康, 長谷川彰彦, 嶋田淳, 長坂浩: 全身麻酔導入
時少量の誤嚥であったにもかかわらず術後肺炎を生じた障害者歯科治療患者の 1 例 日
本歯科麻酔学会雑誌 2012.1

D. 学会発表

1. 国際学会

(3)一般演題

- 1) Nagasaka H, K Onuki, H Oyake, T Imamura, Y Yamanishi, S Yoshikawa, J Shimada, M
Tsukamoto : Comparative effects of pentazocine on bispectral index and auditory evoked
potentials under nitrous oxide sevoflurane anesthesia 7th Congress of the European Federation of
IASPR Chapters (EFICR) HAMBURG, GERMANY 2011.9
- 2) Oyake H, K Onuki, H Nagasaka, Y Yamanishi, S Yoshikawa, J Shimada : The effects of
pentazocine on the bispectral index values during nitrous oxide-sevoflurane 7th Congress of the
European Federation of IARS Chapters (EFICR) HAMBURG, GERMANY 2011.9
- 3) Onuki K, H Oyake, T Imamura, Y Yamanishi, S Yoshikawa, J Shimada, H Nagasaka : Pentazocine,
but not fentanyl, increases bispectral index values during nitrous oxide sevoflurane anesthesia-No
sex differences in opioid induced-BIS index changes 7th Congress of the European Federation of

IARS Chapters (EFICR) HAMBURG, GERMANY2011.9

- 4) Nakamura S, M, Suzuki, M Nishida, H Nagasaka, A Kitamura : Oxygen-rich moderate hyper-capnic condition seems to have significantly reduced diazepam-induced respiratory inhibition in hypoglossal, but not phrenic, nerve activity Annual Meeting of American Society of Anesthesiologists, Chicago USA 2011.10

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) 宮澤有美子、長坂浩：重症筋無力症を合併症した統合失調症の全身麻酔経験第 39 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会、神戸市 2011.10
- 2) 深井俊一、川野竜太郎、下山哲夫、長坂浩：プロポフォール鎮静下に顎関節脱臼の整復を行った 1 例第 39 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会、神戸市 2011.10
- 3) 竹内菊子、宮澤有美子、今村敏克、小宅宏史、大野聖加、鈴木正二、長坂浩：血管腫を疑い低磁場 MRI 検査を実施した 8 歳女兒に鎮静に苦慮した 1 例第 39 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会、神戸市 2011.10
- 4) 田島徹、長坂浩、水野貴公男、嶋田淳：歯学部 5 学年学生に対する笑気吸入実習の教育効果について第 39 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会、神戸市 2011.10
- 5) 小貫和之、小宅宏史、山西優一郎、内田茂則、今村敏克、田島徹、嶋田淳、長谷川彰彦、長坂浩：セボフルラン全身麻酔下ペンタゾシンとフェンタニルの BIS モニタに及ぼす影響第 39 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会、神戸市 2011.10
- 6) 塚本真規、小貫和之、小宅宏史、星島宏、竹内梨紗、長坂浩、土井克史、松本延幸：セボフルラン全身麻酔下でのペンタゾシンの聴性誘発電位 (aepEX) と BIS 値に及ぼす影響第 39 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会、神戸市 2011.10
- 7) 吉川秀明、田草川徹、山田遼、清水良昭、小貫和之、長坂浩、竹島浩、嶋田淳：脊髄性筋萎縮症患者における局所麻酔下での智歯抜歯の 1 症例日本臨床麻酔学会 2011.11
- 8) 小貫和之、長坂浩、小宅宏史、吉川秀明、嶋田淳：セボフルラン全身麻酔下オピオイドの BIS モニターに及ぼす影響：性差が存在するか？日本臨床麻酔学会 2011.11
- 9) 長坂浩、小貫和之、小宅宏史：セボフルラン全身麻酔下でのペンタゾシンの聴性誘発電位 (aepEX) に及ぼす影響 日本臨床麻酔学会 2011.11

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1)長坂浩：科学研究費補助金 基盤研究(C) 麻酔薬の各種悪性細胞に対するオートファージ一誘導活性

特別研究室

M P L

MPL

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Kushida T, Makino T, Tomomura M, Tomomura A and Sakagami H : Enhancement of Dectin-2 gene expression by lignin-carbohydrate complex from *Lentinus edodes* mycelia extract (LEM) in a mouse macrophage-like cell line. *Anticancer Res.* 31, 1241-1248 2011.4
- 2) Masuda Y, Ueda J, Tamura M, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y : Diverse biological activity of *Odontioda Marie Noel* 'Velano' extracts. *In Vivo* 25, 375-380 2011.5
- 3) Masuda Y, Ueda J, Tamura M, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y : Diverse biological activity of *Odontoglossum Harvengtens* 'Tutu' bulb extracts. *In Vivo* 25, 381-386 2011.5
- 4) Horii H, Ueda J, Tamura M, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y : New biological activity of *Rhinacanthus nasutus* extracts. *In Vivo* 25, 367-373 2011.5
- 5) 大井迪, 木戸 政水, 長谷川紘也, 藤本 健吾, 友村美根子, 鐘ヶ江晴秀, 須田直人, 友村 明人 : 閉経後骨粗鬆症モデルマウスに対する血清カルシウム降下因子カルデクリンの遺伝子導入による骨吸収抑制効果. *明海歯科医学* 40(2), 146-154 2011.9
- 6) Matsuta T, Sakagami H, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Anti-UV Activity of Alkaline Extracts of the Leaves of *Sasa senanensis* Rehder. *In Vivo* 25 (5), 751-755 2011.9
- 7) Matsuta T, Sakagami H, Satoh K, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Biological activity of luteolin glycosides and tricetin from *Sasa senanensis* Rehder. *In Vivo* 25 (5), 757-762 2011.9

2. 総説

- 1) Furuichi T, Shiraishi- Yamaguchi Y, Sato A, Sadakata T, Huang J-H, Shinoda Y, Hayashi K, Mishima Y, Tomomura M and Yoshikawa F : Systematizing and cloning of genes involved in the cerebellar cortex circuit development. *Neurochem. Res.* 36, 1241-52 2011.7

C. その他の刊行物

- 1) 松田友彦, 北嶋まどか, 大泉浩史, 大泉高明, 坂上 宏: クマザサ抽出液 (ササヘルス) 及び luteolin 配糖体の紫外線に対する細胞保護効果. *New Food Industry* 53 (7), 19-25 2011.7

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Takano T, Tomomura M, Yoshioka N, Tsutsumi K, Yamazaki R, Saito T, Kawano H, Fukuda M, and Hisanaga S: AATYK1 phosphorylation by Cdk5 regulates axon outgrowth via recycling endosome pathway. 23th Biennial Meeting of International Society of Neurochemistry, Athens, 2011.8
- 2) Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Kushida T and Makino T: Enhanced Dectin-2 gene expression by lignin-carbohydrate complex in macrophages. 45th Meeting of the Continental European Division of the International Association of Dental Research (CED-IADR), Budapest, 2011.9
- 3) Takano T, Tomomura M, Yoshioka N, Tsutsumi K, Terasawa Y, Kawano H, Fukuda M, and Hisanaga S: LMK1/AATYK1 regulates axon outgrowth negatively via recycling endosome pathway. *Neuroscience 2011*, Washington DC, 2011.11

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) Takano T, Tomomura M, Yoshioka N, Tsutsumi K, Yamazaoki R, Taro Saito T, Kawano H, Fukuda M, and Hisanaga S: AATYK1 phosphorylation by Cdk5 regulates axon outgrowth via recycling endosome pathway. 第63回日本細胞生物学会大会, 札幌, 2011.6
- 3) 高野哲也, 友村美根子, 吉岡望, 堤弘次, 寺沢雄吉, 川野仁, 福田光則, 久永眞市: Cdk5-LMTK1/AATYK1-Rab11 は軸索伸長を制御する新たなシグナル経路である. 第54回日本神経化学学会, 金沢, 2011.9
- 4) 増田裕子, 上田純也, 田村雅史, 白瀧義明, 坂上 宏, 友村美根子, 友村明人: ラン科植物 *Odontoglossum Harvengtense* ‘Tutu’ バルブ抽出物の生理活性について. 第58回日本生薬学会, 東京, 2011.9
- 5) 友村明人, 友村美根子, 長谷川紘也, 須田直人: 血清カルシウム降下因子カルデクリンは成熟破骨細胞の Src-Syk-Calcium 経路を阻害して骨吸収を抑制する. 第84

回日本生化学会大会, 京都, 2011.9

- 6) 松田友彦, 岩本祥子, 坂上 宏, 佐藤和恵, 北嶋まどか, 大泉浩史, 大泉高明: クマザサ葉由来ルテオリン配糖体の抗酸化作用. 第53回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜, 2011.10
- 7) 坂上 宏, 松田友彦, 岩本 祥子, 友村美根子, 友村明人, 榎田達矢, 牧野徹: シイタケ菌糸体由来リグニン配糖体による Dectin-2 遺伝子発現の増強. 第53回歯科基礎, 岐阜, 2011.10
- 8) 長谷川紘也, 友村美根子, 須田直人, 友村明人: 成熟破骨細胞の機能における血清カルシウム降下因子カルデクリンの抑制効果. 第53回歯科基礎, 岐阜, 2011.10
- 9) 長谷川紘也, 木戸政水, 友村美根子, 友村明人, 須田直人: 破骨細胞の分化における血清カルシウム降下因子カルデクリンの抑制効果. 第58回 日本矯正歯科学会, 名古屋, 2011.10
- 10) 友村美根子, 長谷川紘也, 須田直人, 坂上 宏, 友村明人: Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, suppresses RANKL-stimulated bone resorptive activity of mature osteoclasts. 第34回日本分子生物学会, 横浜, 2011.12

E. その他、研究会、講演等

- 1) 松田友彦: ササヘルスの新規薬理作用緑健会北海道地区研究会, 札幌, 2011.7
- 2) 松田友彦: ササヘルスの新規薬理作用緑健会九州地区研究会, 福岡, 2011.7
- 3) 松田友彦: ササヘルスの新規薬理作用 緑健会東北地区研究会, 仙台, 2011.10